

建築士 おおいた

全国大会記念号

2017 NO 118



公益社団法人 大分県建築士会

***** INDEX *****

【Ⅰ部】 建築士おおいた 全国大会報告特集

- 1, 「いざない」から「報告」への歩み ***** P1
- 2, 「第59回建築士会全国大会大分大会」を終えて ***** P4
公益社団法人大分県建築士会 会長 井上 正文
- 3, 大会のスケジュールとフォトアルバム ***** P6
- 4, 記念講演の概要 ***** P20
アートディレクター 河北秀也氏
三和酒類株式会社 取締役名誉会長 西 太一郎氏
- 5, 式典の概要 ***** P32
公益社団法人日本建築士会連合会 会長 三井所清典氏挨拶
国土交通省大臣官房審議官 伊藤明子氏挨拶
大分県知事 広瀬勝貞氏挨拶
別府市長 長野恭紘氏挨拶
- 6, 実行委員長・各部会長の報告 ***** P38
- 7, 大会資料（フォーラム・セッション・新聞報道記録） ***** P47
- 8, 協賛団体・事業者・個人の方々のご紹介 ***** P69

【Ⅱ部】 建築士おおいた 2017 NO118号 ***** P80

【I部】 建築士おおいた 全国大会報告特集

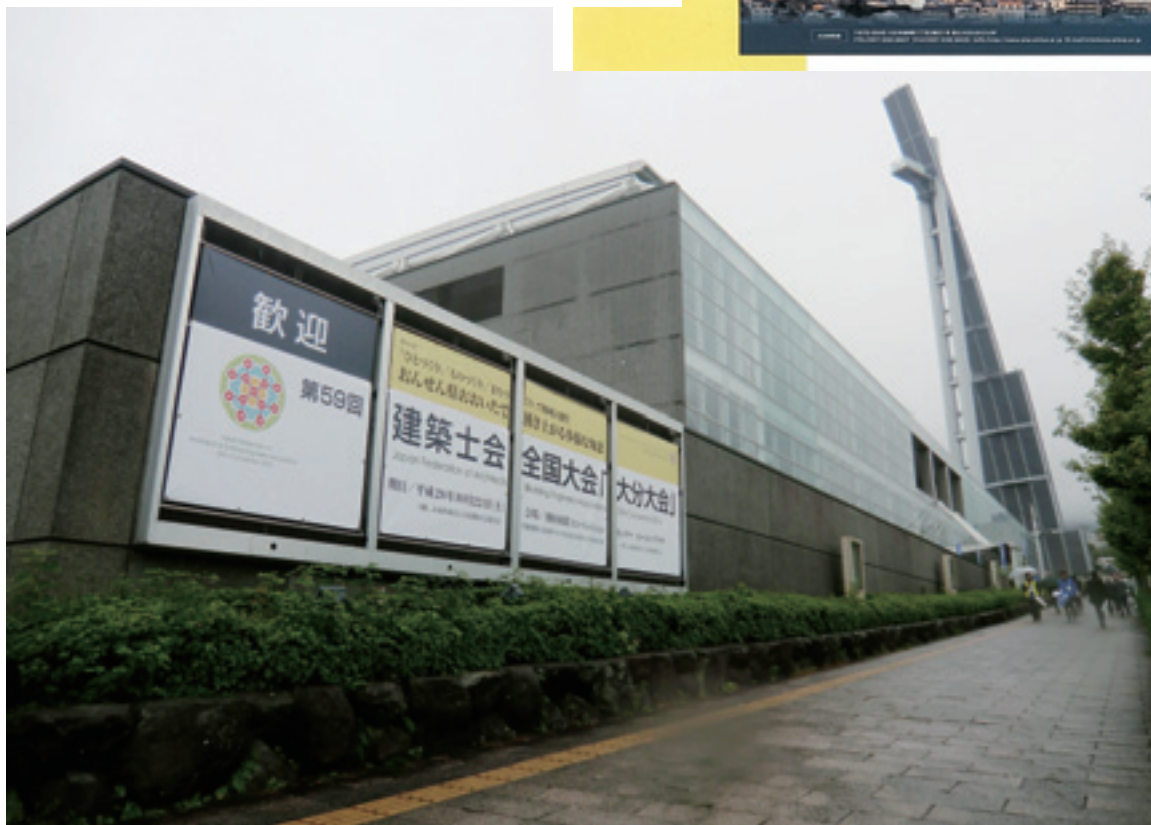
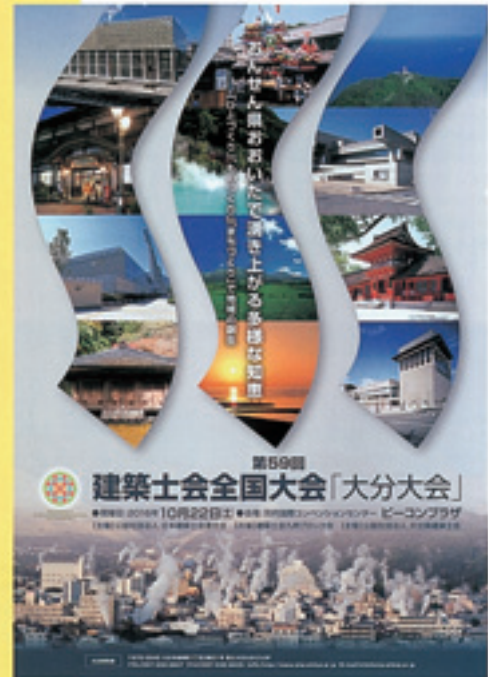
第59回 建築士会全国大会大分大会
2016.10.21~23

「いざない」から「報告」
への歩み



特集 第59回建築士会全国大会
大分大会 報告

去る2016年10月21日(土)、「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」で地域の再生——おんせ
ん会おおいたで湧き上がる多様な知恵」をテーマに、第59回建築士会全国大会が大分県別
府市で開催された。別府市総合コンベンションセンター ビーコンプラザをメイン会場とし、さまざまな
プログラムが催された。
温泉地ならではの多様な文化に触れながら、建築士が40年ぶりの地域再生について一人ひと
りが考える機会となったのではないだろうか。



大会概要

自然・文化・歴史そして温泉と多様性豊かな大分県の風土と設計・施工・行政・教育研究等と多様な職種にまたがる建築士会とに共通する多様性を大会メインキーワードに考えました。

テーマ

「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」で地域の創生 おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵

会場→別府国際コンベンションセンター
ピーコンプラザ(別府市山の手町12-1)
別府市公会堂(別府市上田の湯町6-37)

期日→平成28年10月22日(土)

主催→公益社団法人 日本建築士会連合会

共催→建築士会九州ブロック会
(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

主管→公益社団法人 大分県建築士会

後援→国土交通省、大分県、別府市 ほか(予定)

写真提供1-4~7→公益社団法人 ツーリズム大分



写真1 日田市豆田町のまちなみ



写真2 城下町・中津の合興寺



写真5 杵築のまちなみ



写真3 九重の山々



写真4 竹田のまちなみ



写真6 日木の二王座歴史の道



写真7 杵築の旧豊後森権関庫



写真8 竹瓦温泉



写真9 明善温泉の湯の花小屋

「第59回建築士会全国大会 大分大会」を終えて

井上正文 ■ 第59回建築士会全国大会大分大会 主管県

公益社団法人 大分県建築士会 会長



昨年10月22日、終日の雨の中、第59回建築士会全国大会大分大会が大分県別府市において開催されました。大会開催の約半年前の4月14日以降に断続的に発生した熊本地震により、本大会の開催自体も危ぶまれる事態となりましたが、被災地である熊本への支援と建築技術者としての安全・安心な生活環境への強い関わりが求められていることから本全国大会の実施を決断致しました。このような状況の中、全国から大分の地において頂いたご来賓の方々をはじめ、約3300名の建築士会会員の皆様に対しまして、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

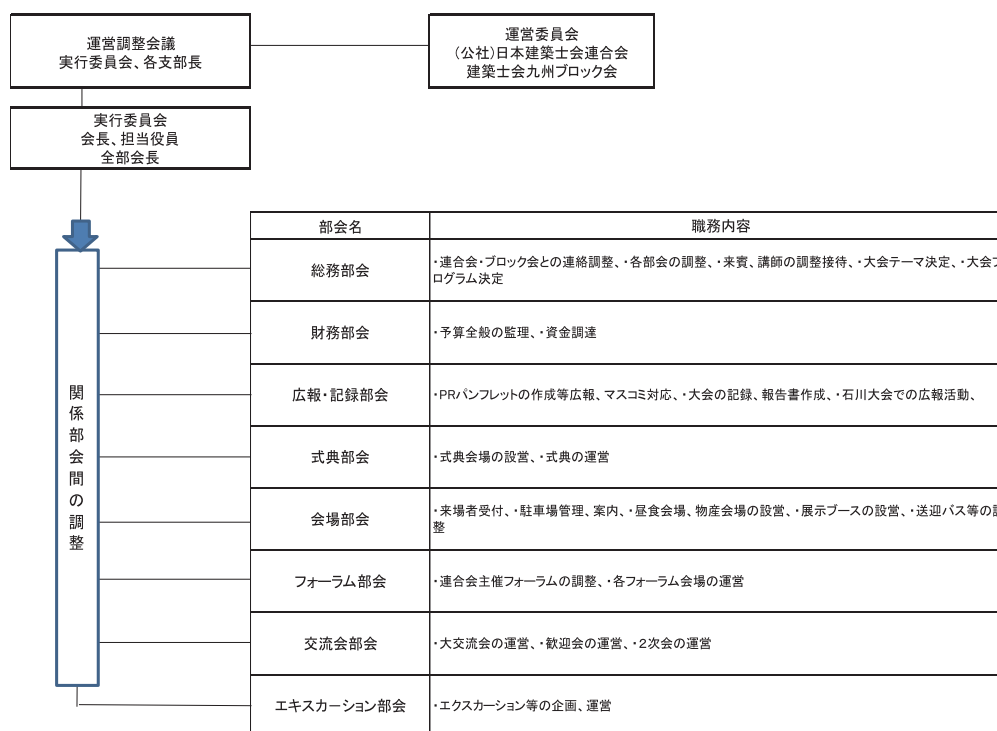
今回の大会では、「まちづくり、ものづくり、ひとづくり」を基本コンセプトに据え、地域創生に建築士がどう関わり、どう貢献していくかを大きなテーマとして、企画・準備を進めて参りました。メイン会場の別府ビーコンプラザにおきましては、「木造建築フォーラム」、「折り紙建築フォーラム」、「足湯でまちづくりフォーラム」の3つのフォーラム、各種多数のセッション、記念講演、式典、大交流会を実施致しました。また、別会場となった別府市公会堂で開催された全国ヘリテージマネージャー大会では「歴史的建造物の活用推進と法規制」をテーマに活発な議論が展開されました。さらに翌日のエキスカーションは、5コースを設定して、多くの皆様にご参加頂きました。このような盛りだくさんの行事がすべて滞りなく、無事終了致しましたことは参加の皆様方のご協力・ご支援の賜物と深く感謝致しております。

本大会の準備は、3年前の島根大会の頃にスタートさせましたが、歴史・伝統・文化に溢れた石川大会と京都大会に挟まれる形での大分大会はどんな大会を目指すかは私どもにとって、大きな難問でありました。この中での結論は、「参加の建築士会会員の皆様には、全国大会を楽しんでもらおう！」でした。これを合言葉に大会の企画・運営を行って参りました。雨の中とはいえ、屋外での「うまいもの市」はご堪能頂けましたでしょうか。記念式典オープニングの日本文理大学チアリーディング部「BRAVES」のパフォーマンスで、元気・勇気・感動を皆様方にお届けできましたでしょうか。記念講演では、全国的ヒット商品となった「いいちこ」の広報を通じての「文化を大切に作る心」を河北秀也さん、西太一郎さんに語って頂きましたが、ご両人の熱い思いを汲み取って頂きましたでしょうか。大交流会では、多彩な大分の味をご堪能頂けましたでしょうか。また、会員の皆

様同士の楽しい交流の場となりましたでしょうか。大交流会後は、夜の別府の賑わいや楽しさを感じて頂けましたでしょうか。エキスカーションでは大分の歴史・文化・建築を堪能頂けましたでしょうか。どれも、これも心をこめて準備をさせて頂きましたが、その中でひとつでも、楽しんで頂いたものがあつたのなら、おもてなしの心に抱きつつ準備と当日の対応に当たった大分県建築士会会員一同の大きな喜びです。

本大会の準備・運営にご支援・ご協力を頂いたご来賓の方々をはじめとする多くの方々に深く感謝申し上げます。最後に次回開催されます第60回京都大会の成功、全国の建築士会会員の皆様のご健勝並びに京都大会での皆様方との再会を祈念申し上げまして第59回建築士会全国大会大分大会終了のご挨拶とさせていただきます。

第59回 建築士会全国大会おおいだ大会組織図



大会のスケジュールとフォトアルバム

主なスケジュール

建築士会の多様性を反映して盛りだくさんのテーマのセッションとなりました。幸い会場が広くて対応できましたが、開催時間が重なったセッションがあったのがちょっと残念でした。

平成 28 年 10 月 21 日 (金)

全国大会前日 (別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ/別府市公会堂)

13:30~14:30 記者会見 (ビーコンプラザ小会議室 32)

15:00~17:00 連合会理事・士会長合同会議 (ビーコンプラザ国際会議場)

16:30~20:00 全国建築士フォーラム (ビーコンプラザリハーサル室、国際会議場)

17:00~18:00 全国HMネットワーク協議会総会 (別府市公会堂大ホール)

13:30~16:30 まちづくり大賞選考会 (ビーコンプラザ中会議室)

平成 28 年 10 月 22 日 (土)

全国大会 (別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ/別府市公会堂)

8:30~16:00 大会受付 (ビーコンプラザ メインエントランスホール)

10:00~12:00 全国ヘリテージマネージャー大会 (別府市公会堂 大ホール)

10:00~12:00 木造建築フォーラム (ビーコンプラザ 国際会議室)

10:00~12:00 女性委員会セッション (ビーコンプラザ 中会議室)

10:00~12:00 防災まちづくり部会セッション (ビーコンプラザ 小会議室 31)

10:00~12:00 福祉まちづくり部会セッション (ビーコンプラザ 小会議室 32)

10:00~12:00 街中(空き家)まちづくり部会セッション (ビーコンプラザリハーサル室)

9:00~12:00 地域実践活動報告 (ビーコンプラザ レセプションホール)

13:00~14:30 環境部会セッション (ビーコンプラザ 小会議室 31)

13:00~14:30 情報部会セッション (ビーコンプラザ 中会議室)

13:00~14:30 建築相談本部セッション (ビーコンプラザ小会議室 32)

13:00~14:30 歴史まちづくり部会セッション (ビーコンプラザ 国際会議室)

13:00~14:30 記念講演会 (ビーコンプラザ フィルハーモニアホール)

9:00~16:00 折り紙建築フォーラム (ビーコンプラザ フィルハーモニアホール前)

10:00~15:00 足湯でまちづくりフォーラム (ビーコンプラザ 芝広場)

15:00~17:00 大会式典 (ビーコンプラザ コンベンションホール)

17:30~19:00 大交流会 (ビーコンプラザ コンベンションホール)

9:30~16:00 情報発信セッション (パネル展示)

9:00~16:00 企業出展ブース (地元企業、BIM/CAD 等)

平成 28 年 10 月 23 日 (日)

地域交流見学会 (エクスカーション)

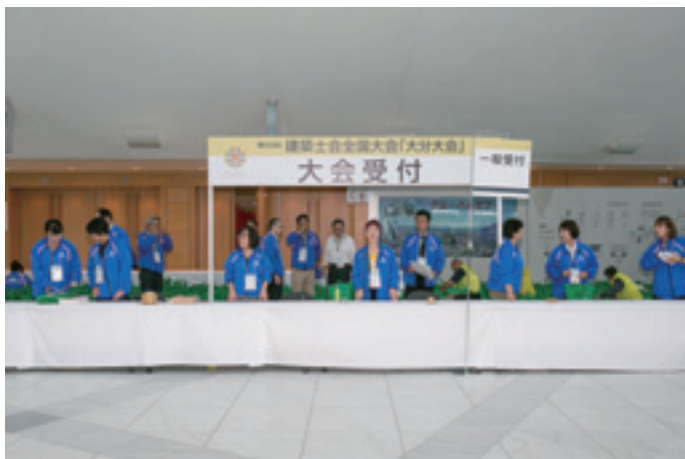
A コース 歴史と平和を考える 宇佐神宮・戦争遺跡を巡る旅

B コース 杵築の町並みと 1300 年の歴史先達・天台宗住職と巡る国東半島 特別参拝ツアー

C コース おおいた建築巡礼 ~巨匠達の名建築~

D コース 別府の温泉文化と歴史遺産めぐり

E コース 静寂な山荘と湯の坪街道の秋を巡り湯布院のまちづくりのビジョンを学ぶ



準備万端です



大会資料袋
前日から詰めました





木造フォーラム講師腰原先生



木造フォーラム講師
稲山先生、原田先生、山代先生



ヘリテージマネージャー
ネットワーク総会司会の鈴木会員
パネラーの三ヶ尻会員、光永会員





ヘリテージマネージャー
ネットワーク総会・大会受付



女性委員会

防災まちづくり



福祉まちづくり



街中（空き家）まちづくり



地域実践活動（佐伯の青年委員会発表しました）



環境部会



BIM活用



建築相談部会



歴史まちづくり部会



歴まち部会



記念講演司会松崎沙織さん



記念講演
いらっしゃい





記念講演師
河北様、西様



折り紙建築
フォーラム



足湯でまちづくり



足湯で
ゆったり談話



式典会長挨拶、幸副会長挨拶
NBUチアリーディングの演技





国土交通大臣
代理伊藤審議官
司会は江藤愛さん



広瀬知事



別府市長



満席です



功労者表彰
代表 板井登喜雄さん



竹のオブジェ



大会旗の引継
京都市会の皆さん



大交流会
岩崎朋美さんの司会とジャズのBGM
笑顔で交流





メインエントランスでは
联合会パネル展示と
クロークを準備しました



大分士会活動パネル展示



大分のお土産どれに？

企業ブース





日本赤十字社の献血コーナー
飲酒でアウトの会員あり？



土産、書籍、うまいもの市
観光案内・・・商売繁盛



うまいもの市
家族総出でがんばってます。



雨の中
お疲れさまです。





別府駅の案内
ご苦労様でした



まちづくり大賞優秀賞受賞
(臼杵支部)



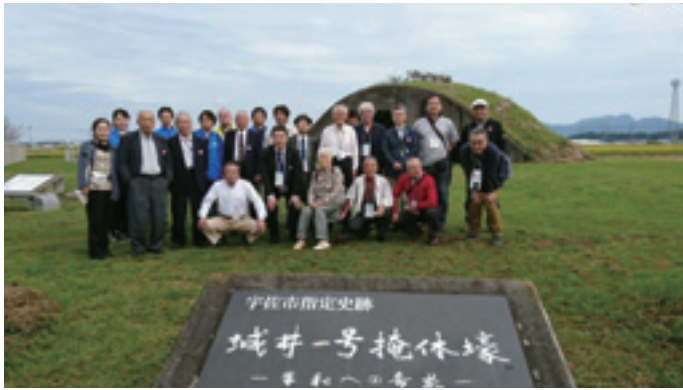
大会本部事務局風景
バタバタしてます。



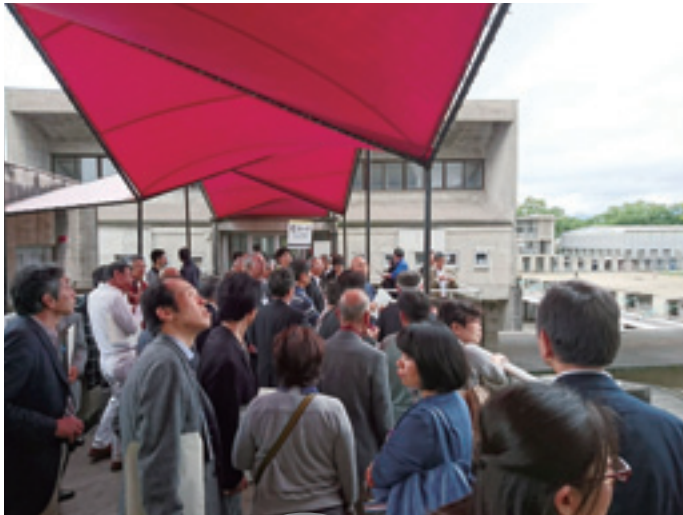
中津支部
観光PR



臼杵支部黄金の茶室



エクスカーシヨン
宇佐・杵築・国東・大分・別府・湯布院



岩田学園見学



別府市公会堂



別府市竹細工伝統産業会館
の見学



湯布院湯の坪街道の景観計画
市役所職員による解説

第59回建築士会全国大会記念講演会（概要）

会場：ビーコンプラザフィルハーモニアホール

○司会 皆様、こんにちは。本日はようこそ大分県へお越しくださいました。

ただいまより、第59回建築士会全国大会大分大会の記念講演を初めさせていただきます。

私は、記念講演の司会を務めさせていただきますフリーアナウンサーの松崎沙織と申します。どうぞ皆様、よろしくお願いたします。

それでは、本日、御講演いただきます講師の先生方を御紹介させていただきます。

アートディレクターの河北秀也様と本格焼酎いichこの製造元 三和酒類株式会社取締役名誉会長であります西太一郎様でございます。どうぞ、皆様、大きな拍手をお送りください。

河北秀也様は、1971年に東京芸術大学ビジュアルデザイン科を卒業後、現在の地下鉄路線図のスタイルを確立した東京地下鉄の路線図を完成されました。また、旧営団地下鉄のマナーポスターなど想像力を刺激し、見る人に働きかけるようなすばらしい作品を生み出しておられます。

1983年からは焼酎いichこの全ての企画デザインをされており、全国の駅等に掲示しているいichこのポスターでは、ボトルとコピーや風景が作り出すストーリーのある作品を手がけられております。

また、河北様が企画されました2009年のいichこ日田全麴のCMソングでビリーバンプの「また君に恋してる」を坂本冬美さんがカバーし大ヒットとなったことは皆様の記憶に新しいかと思えます。

続きまして、西太一郎様は、1960年に東京農業大学農学部醸造学科を卒業後、大分県宇佐市の三和酒類株式会社に入社され、1989年より代表取締役社長、会長を歴任し、2009年より現職の取締役名誉会長になられております。

名誉会長となられた現在でも、「いichこを世界の酒に」を合い言葉に営業マンの一員として全国各地をとび回っておられます。そうした成果が実を結び、今夏、三和酒類株式会社が醸造されました本格焼酎いichこスペシャルが世界的な酒類コンペティションであるインターナショナル・ワイン・アンド・スピリッツコンペティションにおいてカテゴリ最高賞となるトロフィーに選ばれております。（中略）

それでは、本日は、全国各地で御活躍されておりますお二方より、「どうしたらもっと幸せになれるか、それを考えるのがデザイン」をテーマに河北様、西様の順に御講演いただきます。

それでは、河北様、よろしくお願いたします。

○河北秀也氏 河北です。

いいちこに関しては、1982年か1983年くらいから三和酒類とおつき合
いしていろいろなポスターとかいろいろなものをつくってます。（中略）

1982年、1983年当時というのは広告の全盛時代でして、サントリーの
広告なんかも非常におもしろかったですね。それで、僕も東京で割と活躍してま
したけど、活躍とかどっちかというと売れっ子でしたけども、大分県の宇佐
市から、宇佐市といっても、市といっても実態は宇佐村ですよ。村。その村で
三和酒類という会社でいいちこという焼酎をつくったと。

何で焼酎をつくったかという、もともと三和酒類というのは地元の造り酒屋
が3社集まってつくったんですね。3社集まって、もう売れないもんだから別に
工場つくって同じラベルで売ろうということでできた会社なんですよ。（中略）
いいちこが1979年に出たんですけども、1979年に出るときの、この話は
西会長のほうから後、されるでしょうけども、大体、3億7,000万円くらい
の売り上げなんですよ。それで、東京の僕のところにご相談に来たんですよ。「ち
ょっと、全国に売りたいんですけどもどうしたらいいだろうか」ということで、
「そんなこと言わないでも地元で細々と売ってたほうがいいよ」と言ったら、
「いや、もう大分、売れるようになってきた。今、広島でも売れるようになって
きた」とか言うんですよ。「もう昔の売り上げとはちょっと違うんだ。何とか
してくれ」と言われて、何とかしてくれと言われても、そんな、そのときは20
億円か40億円くらいでしたかね。それくらいの売り上げでしたからね。「だっ
て別に宣伝費にかける値段なんて大したことないから、それはもう地元で売って
たほうがいい。欲を張らないでも地元で売ってたほうがいいよ」というふう
に最初は断ったんですよ。そうしたら、「やってください」ということで、「じゃあ、
やろうか」と。（中略）

ポスターというのは、余りお金が高くないんですよ。画面は派手ですけども。
何で高くないかという、効果がないからなんです。効果がないから高くない。
テレビコマーシャルで皆さんもよく御存じでしょうけども、ちょっとだけ言いま
すと、夜の一番いい時間というのが大体、6時から10時くらいまでの間ですか
ね。（中略）1日に1億2,000万円くらいかかるわけですよ。定価ですよ、
もちろん。そういっても1日に1回しか見られないんですよ、1回しか。テレ
ビというのは1つの番組しか映りませんから。それを毎日、見られるようにしよ
うと。そうしたら1億2,000万円の7倍、もうすぐ10億くらい、すぐいっ
てしまうんですよ。ところが、ポスターというのは安いんですよ。だから、も
うポスターを1枚くらいしかからやるしかないなと思ったんですよ。（中略）

当時は、1業種1社というのがあったんですよ。我々、クリエイターの場合は
お酒の会社は、例えば、いいちこをやったらキンビールはできないとかサント
リーはできないとか、そういう暗黙のルールというのがあったんですよ。それは
カメラマンでもだめです。コピーライターでもだめです。とにかく1業種1社に

しろと。そしたら、いいちこがもう成功すればするほど、これはもうキリンからもサントリーからもニッカからもどこからも仕事が来なくなるなど思ったんですよ。

当時、広告の仕事というのは非常に華やかでお金がもうかる仕事だったんですよ。だけど、まあしょうがないかなと思って、失敗するわけにいかないから渋々始めたわけですね。（中略）

で、広告を始めようかということで、これが一番最初のポスターなんですけども、ここに書いてありますね。「広告の世の中だけど噂で飲まれる酒がある mismatch ストーリー」と。これがヘッドコピーなんですけども、その当時は広告媒体といったらこのポスターしかないですから。ほかは何もやってませんから。このボディコピーもほとんど読まれないということはわかってましたけども、一応、入れました。これが最初のポスターでして、それから延々三十何年、毎月、制作してますから、毎月。四百何十種類もうポスターをつくってます。（中略）

それから三十何年間、毎月デザインを変えて、月1枚つくってます、今でも。それで、12月だけがクリスマスバージョンがありますから、年13枚ですね、つくってます。休んだのは2回しかないです。もう一回は別のが入りましたから、本当は休みじゃないんですけども、最初のうちは別にちょっと、あんまりおどかしちゃあまずいですから1枚くらいポスター作ろう、お金がない企業でもお金が出せる金額だから、そういうふうに言ってだましだましでいったんですよ。そのうち、2カ月に1回くらい出して、毎月にしようと。だんだんふやしていったんですよ。で、売り上げがどんどん伸びてきましたから、テレビコマーシャルとかいろいろなものもだんだん加えていきました。それが最初のポスターです。

これももう30年以上前のポスターですけども、「スプリング」となってますけども、どうやってとったかという、ここにボトルが3つ飛んでますよね。どうやったかという、3人で上に投げてるんです。せえので。投げては受け取りしてるんですね。だから結構、この当時はフィルムだから、今でもフィルムですけども、フィルム3本撮りましたから百何回撮りましたよね。それで、これが一番よく見えてるかなというようなポスターです。（中略）

これは、もう日本じゃないってことはすぐわかると思うんですけども、レモンの木ですよ。 「楽譜のような樹の下で」これはスペインです。（中略）

というふうにして、今、お見せしましたけども、いいちこのポスターというのはほぼ全部、外国で撮ってます。日本のポスターはないといってもいいです。日本で撮った写真はないといってもいいです。今はもうほとんど100%外国で撮ってます。それでこれも日本だと思われるんですけど、日本で撮ろうと思ったらえらいことになるんですよ。ここにコンクリートの橋があったり、木に似せたくらいが立ってあって、「ごみを捨てないでください」とかそういうのが立ったりします。（中略）

何で外国でこんなものを撮ってるかという、要するに美しい日本というのは

一体どこにあるのかということ考えた場合がないんですよ、日本には。今から百六十何年前にペリーが日本に来たときに、「こんな美しい国はない」と、「貧しいけども非常に幸せそうできれいだ」と。今でも外国人が来たら「きれいだ。きれいだ」と言ってますよね、マスコミが。だけど、こんなきれいな国はないと。ゴッホが南フランスに行ったときに、余りにきれいなので「ここは日本か」と言ったらしいですね。とにかく美しい国の象徴というのはもう日本だったらしいです。それで、最初はペリーだけが言ったのかなと思ってたんですけども、実はその当時に来たヨーロッパ人とかは皆そう思ったらしいですね。本当に美しい。

ところが、ここ100年くらいたって日本はどうなったかということ、ごみだめですね、日本じゅう。何でこんなにきたなくなっただけでしょうね、日本は。だから、ここにいらっしゃる建築家の方々の責任でもあるかなとも思うんですけども。

要するに、そういう美しい日本、美しい日本ていうのは一体どこにあるのかということをもって、これ、ヨーロッパが多かったですけども、ヨーロッパじゅうをロケしてるというのが本当ですね、実は。ヨーロッパ、アメリカをロケしてる。だから余計なものが日本にはいっぱいあるんですよ。最近は大分、よくなりましたけども。（中略）

これは、ちょっとウィーンの郊外に行くと、もうこういうところが広がっているんですよ。だから幾らでも撮れるんです。でも、ここは日本かな、どこかなと、よく思われてる人が、いいちこのポスターなんかを見て思われている人がいますけども、何か日本の風景を求めにヨーロッパに行ったりアメリカに行ったりしているようなところがあります。それは、日本が余りにもきたないからです。

それで、美しい日本の風景というのはいったら、実は脳の中にあるんですよ。私たちは、毎日、同じような風景とかいろいろなものを見てますけども、実は見てないんですよ。朝、会社に行って、それだけをずっと見て会社に来て家に帰ると。その間、大したものを見てない。ところが、その間にバーチャルで見てるわけですね。例えば、その中に外国の風景なんかが入ってくる。それも日本の風景に入れちゃうんじゃないでしょうかね。だから脳の中にあるんですよ、日本の風景というのはい。だから美しい日本の風景は日本で撮ったから日本の風景というわけじゃないんですよ。というふうに僕は思います。（中略）

これはクロアチアです。クロアチアに行ってびっくりしたんですけども、クロアチアというのはい。クロアチアのテレビコマーシャルをつくったのが内陸部のほうなんですけども、それからアドリア海にずっと面してまして、休みの日になると車がどんどんどんどん行ってるわけですね。それで、アドリア海にクルーザーとかヨットがびっしりあるんですよ。「これは一体、誰が乗ってるのか」と聞いたら、「全部、クロアチア人のもんだ」と言うわけですね。要するに、北の東のほうというのはい。内陸部ですから、そこからどんどん海のほうに行って海の遊びをやってるわけですね。要するに、ついこの間まで

戦争をしていた国ですよ。見えるでしょう、これは銃弾の跡です。ついこの間まで戦争をしていた国なのに、休みの日というのは道路があればっかりです、キャンプカーばっかりです。日本ではそういうことは一切、見ないですね。トラックかダンプカーですよ。クルーザーの海の遊びなんて、ほとんどないですよ。何ででしょうねえ。もっと豊かに生きたほうがいいと思うんですけどね。だから、ついこの間まで戦争していた国なのに、こうやってちゃんと人間が生きる国にしたいんですよ。

皆さんはよくもう御存じでしょうけども、日本の国家、どういう国をつくろうかと日本の国家戦略を知ってますか。スローガンは。どういう国をつくろうとしてるか、日本が。「産業重点国家をつくる」というのが日本の方針ですよ、明治以来。産業重点国家。戦後もそうです。

ところが、同じように戦争に負けたイタリアとそれからドイツが負けましたよね。ドイツというのは、ドイツの国家スローガンというのは何かというと、「豊かな国民は国家の財産である」というのが国の方針です。日本は産業重点国家をつくと。産業重点国家をつくるということで、首都の整備から鉄道の整備から空港の整備からまちづくりから、みんなそれ、やってるんですよ。産業のためなんです。一番、偉いのは産業なんですよ。だから人間を全然、大事にしてない。

例えば、ドイツなんかでは、日本に交番があるのと同じくらいそういう病院があるんですよ。病院の交番みたいなものがあるんです。それとか少年が少年犯罪を犯しても再犯率というのは非常に少ないらしいですよ。それから、老人ホームなんかでも、日本はやっと1960年か何かに法律ができたくらいで、物すごくおくれてますけども、要するに全員個室ですよ。だから歳とってから、この部屋が暑いとか寒いとかということは個人差があっているいろいろだと。だから全員、個室にしようということになってるみたいですよ。要するに、全部、人間からの発想なんですよ。それがいつの間にか産業が一番、偉いということになって、産業よりの発想になった。だから非常にこれは日本にとってまずいことですよ。早く人間中心の国にしてもらいたいというふうに思うんですけども。

クロアチアは、もうすぐそうなってます。つい五、六年くらい前まで戦争をしていたのに。これは、クロアチアの戦争で破壊された教会です。もうこの後ろは破壊された教会です。そこにろうそくを並べたんです。（中略）

さっきドイツの話をしましたけども、戦争で負けたイタリア。イタリア人の3人と僕とシンポジウムをやったことがあるんですよ。3人のデザイナーと僕で、僕は1人ですけども。デザイナーというのはブランジーというイタリアの指導者みたいな人ですけども、デザイナーと40代と30代のデザイナーでした。それで、イタリア人のデザイナーにその席上で「デザインといたら皆さん、まず何を考えますか」と聞いたんです。そう聞いたら、「生活や暮らし」って、言うんですよ。3人が3人とも。「生活と暮らしを考えます」と。3人が3人とも言ってびっくりしたんです。日本人に、もし「デザインで何か」って、聞いたら、大体わかってますよね。「色や形」でしょう。色や形から発想するものと生活や暮

らしから発想するデザインとはえらい違いですよ。要するに、日本では、僕も芸大のデザイン科の先生を十何年やりましたけども、デザイン教育っていうのはないんですよ。要するに、どうしてないかという、まず一番最初にびっくりしたのは、建築家というのはいろいろな大学にあるんだけど、美術大学にしかデザイン科はなかったんですね、今はあちこちありますけども。それで、応用美術の1つとしてデザインが位置づけられた。要するに彫刻や絵画の応用美術として位置づけられた。

それ、何でそうなったかという、デザインというのは、日本でいえば縄文時代からの時代からもあるんですけども、アメリカのマーケティング理論というのが入ってきたんですね。（中略）それはデザインの教育の方法論ができる前にアメリカのマーケティングの方法論が入ってきたんですね。それで、こうやったら売れるよと。こうやってこうやってデザインしたら売れるよと。こうやったら売れなくなるとか、そんなことばかり考えてるんですね。（中略）

要するに我々というのは、皆さんもそうでしょうけども、建築家の皆さんもそうでしょうけども、デザイナーというのは受注産業ですよ。受注産業。それがどうも嫌だったんですね。嫌っという思いをたくさんやってきた。要するに、スポンサーというのは、クライアントというのは、お金を払うけど、お金を払ってそれに従ってデザイナーや建築家というのは従わなきゃいけない。だからえらそんなことばかり言うわけですよ。これはこうやってくれとか、こういうふうに形を変えてくれとか。もうそれが嫌で嫌でしょうがなくて、もうこの仕事をやめようかと思ってたんですね。

それで、いいちこを何とか成功させたいと思ってるから、要するに「対等でやらせてくれ」と。それで、「僕が全部やる」と。だから「宣伝部門もつくるな」と。「東京支社もつくるな」と。「僕が1人で全部やるから」と言ってお受けしてくれたんですね。いまだにそれはそうやってます。（中略）

世界じゅうロケしててわかるんですが、花が咲いてたり木があっけきれいな季節によって花が咲いたりするようなところというのは、みんな家の周りなんですよ。ジャングルとかなんとか林の中には花はほとんどありません。要するに、人がやってるんですね。人がきれいにしてるんですよ。だから、日本もきたなくしてるのは、人がきたなくしてるんですよ。林とか森の中には花はありません、基本的には。

（中略）それで、何でこれをやったかという、日本には文化学という学問がないんですよ。日本くらい文化学の学問がない国はないですよ。台湾にも韓国にも、もちろん中国にもありますよね。幾らでもある。文化を研究している。

ところが、一番、文化を知らないのは日本人なんですよ。全く知らない。それで、もちろん建築も文化です。デザインも文化です。経営も文化です。酒も文化です。文化をきちっと知らなければ、もうできないと思うんですけどね。この前、ノーベル賞を取った東工大の先生が言ってましたけども、科学も文化だという認識を欲しいと言ってましたけども、インタビューに答えて。全くそのとおり

だと思えます。（中略）

多分、文化がないと生きられないんじゃないかと思うんだけど、その辺をだから雑誌をつくって、それで少しずつ研究していこうということで出した雑誌がこれ、季刊いいちこという雑誌です。要するに、予算はもうこの原稿を書くのに1カ月やっても例えば、1カ月20万円あったらじっくり書けますよね、20万円くれるといたら。そのくらいの原稿料を払うと。海外の取材もできると。売らなくていいと。

そいでもう一つ、そのかわりいいちこという誌名だけは「いいちこ」にしてくださいと。そのかわり焼酎のいいちこのことは一切、かかなくていいからということで、私の事務所に編集部をつくってやっています。こういうものを出したら、僕は声の大きいもんだからちょっと採用されたようなもんですけども、もう経営者の方々が、そりゃあもちろん読みもしませんよね。もちろん読みもしない。僕だって、読んだってわからないですよ。半ページ進めないんですもんね、難しくて。今はもう大分、読めるようになりましたけども。

ところが、それを配ると、「お宅の会社はすごい雑誌を出していますね」と、非常に喜ぶわけですね。だから続いているようなもんです。これこそ、文化学というのをきちっとやらなきゃいけないですね。

例えば、芸大でいうと、芸大の技術がありますよね。絵画の技術。これは間違いなく世界一です、間違いなく。でも、そういう画家とか彫刻家なんかは生まれるかといったらとんでもないですよ。要するに、絵何かを描いて、「いいでしょう、いいでしょう」というくらいで、何も説明もしない。

パリのボザールとかロンドンのロイヤル何とかというところなんかの学生なんて、本当に下手ですよ。だけど口だけうまい。でも、そういう人たちが、だから割と評価されてるわけですから、もうとび抜けて世界一です。世界から留学生がたくさん来ますからわかりますけども、その文化学を少しいいちこでもやっついこうと。要するに、いいちこを、そんなもうからなくてもいいから、とにかく持続的ないい会社にしたと。（中略）

これが、ことしサンディエゴで撮ってきたやつ。（コマーシャルが流れる）

トライアスロンというのがサンディエゴで1974年にできまして、それと同じところでやっています。それで、ちょっと言いますと、ナレーションは僕が言っています。

何でビリーバンバンを使ったかという、音楽は最初は一発目はポルトガルのファドの歌手を使ったんですね。だけど、ちょっと違うなど。それで、フォークソングはあってるなと思ったんですね、曲は。あってるけども、普通のフォークソングの歌手を使うとちょっと泥くさいんですよ。で、いいちこというのは、余り泥くさくなくて都会で結構、洗練された味がするんですね。そういう歌手はいないかと思って探したら、ビリーバンバンがいたんですね。（中略）

それで、坂本冬美というのはね、演歌の歌手ですけども非常に歌がうまい。坂本冬美に聞いたんです。「演歌じゃなく歌ってくれるか」と。「要するに、うな

ったり拳を回したりしないで普通に歌ってくれ」と。そしたら1週間、返事が来なくて、もうだめかなあと思ったら、「やってみます」って、やってくれたんですね。

そういったわけでして、いちこのいろいろなプロモーションとかいろいろなものは私がみんなやっています。

それで、いろいろきょうはお見せしたいものがたくさんあるんですけども、時間も大分オーバーしてしまったので申しわけないんですけども、こんなところで終わりたいと思います。

ありがとうございました。

○司会 河北様、ありがとうございました。いま一度、皆様、大きな拍手をお送りください。

○司会 それでは、続きまして、西様より御講演いただきます。

では、西様、よろしく願いいたします。

○西太一郎氏 御紹介いただきました西太一郎です。

最初の河北先生との私の出会いは、もう私が依頼に行くと、先生、初めて実は困った顔をされたんですね。それで、当時、その後のことを聞きますと、さっきお話に出ましたように、私どもの会社の売り上げは3億8,000万円くらいの本当に小さな小さな会社です。河北先生は、今、この小さな会社を引き受けて、どのようになるんだろうというように非常に困ったらしいんですけども、実は私のほうに河北先生のお姉さんもお勤めだし、お兄さんもお勤めだもんですから、渋々ちょっと引き受けてくれたんですね。そのときに、私に言ったのは、「クライアントとデザイナーの対等の立場でやらせてくれ」と、そういうことを言われまして、現在もその状態をずっと続けています。

それで、河北先生からいろいろなセッションをもらって今日があるんですけども、一番、私が關心しているのはどういうことかということ、私のほうが毎日、一つ、品質第一、一つ、安全運転、というぐあいに毎日、全社員で唱和をしているんです。で、河北先生が、「西さん、品質第一って、あんたは毎日、言ってるけども、品質第一とはどういうことなんですか」と言うから、私が「品質第一とは、素材にこだわる、素材のよさを引き出す技術にこだわる。このことじゃないでしょうか」と言ったら、「やあ、もう一つあるんだよなあ。それでは足りないんだよ。」「何ですか」と言うと、「品質第一とは、素材にこだわって、素材のよさを引き出す技術にこだわって、あとはつくり手のイメージだ」と。「このイメージがないと本当に品質第一にはならないんだよ」と。その例を挙げますと、お菓子屋さんの例、自動車屋さんの例、それから名前を挙げて申しわけないですけども、京都の料理屋さんの例を挙げまして、そこで大変な品質のイメージを持っておられるんですけども、ある日、突然、それが壊れたときに、そのもののブランドイメージはもう完全に壊れてしまうと。そういう意味で、このつくり手の誠実さ、そういうイメージというのはとっても大切だと。そのことを考えて日々、ものをつくりましょうよ」というようなことを言われて、なるほどなるほどというぐあ

いに思っただけで今日に至っています。

そしてまた、次に、私のほうに言ってくれた言葉の中に、「西さん、あなたのライバルはどこですか」と、言われたときに、「私のほうのライバルは麒麟ビール、サッポロビール、アサヒビール、サントリー」と、もう大きな会社をいっぱい挙げたんです。「いや、そんな小さな会社でいいんですか」と、言われるんですね。「いやあ、もうガリバーみたいな会社です」「いや、そんな小さい。あなたの本当のライバルはベンツ、BMW、トヨタだ」と、言われるんです。「ええ、自動車ですか」と言うと、「当たり前ですよ。車の運転をしてる時間は絶対にいいこは飲まないよ。だから、これからは時間の取り合いのビジネスを考えましょうよ」と。「誰も24時間しか持ってないんです。私も24時間、皆さんも24時間しか持ってないうちの時間の取り合いなんだと。その時間の取り合いのビジネスを考えましょう」と、いうことを言われて、なるほどなるほどと、そう思いました。

実は、私のほうの経験で携帯電話がもうどんどん普及して、携帯電話の電波の通じない業務店さんはお客さんの客層がずんと落ちたことがあります。ですから、ある日、突然、この携帯電話というのはもうライバルになるわけですね。

タクシー会社が「このごろ、この携帯電話の普及によってもうお客さんが全部、自宅に電話を入れて、何時何分に何駅に帰るから迎えに来いというぐあいになって、昔ほどタクシーの利用をしてくれない」というようなことを言われるんですね。ですから、ある日、突然、私たちが思ってもないようなライバルが出現するんだと。これは時間の取り合いのビジネスなんですね。そういうことをもう適格に助言してくれるのが河北さんでした。

それから、さっき話題が出ましたが、季刊いいことという、これは文化学の雑誌をつくるということになったときに、私に対する、私たちに対する説得はどういうことかという、「西さん、新しい媒体を考えた。新しい媒体をつくりましょう」というように言われるんですね。へえ、新しい媒体というのは、例えば、さっきお話が出ましたようにテレビの宣伝はたった15秒で1,200万円くらいかかります。このポスターだって全体で媒体料を入れると3,000万円くらいはかかるわけです。そういうところにもってきて、「新しい媒体をつかって、それはただなんだよ。そういう新しい媒体をつくるようにしましょう」と言われるので、もう私たちはすぐ頭の中でそろばん勘定をして新しい媒体、それはそんな格好のいいものができるのかと言われると、「いいことという雑誌が世界の書店に並ぶんだ。それは全く無料で並ぶんですよ。いいことというロゴが世界の書店にどんどん並ぶ。それはとってもすばらしいことじゃないでしょうか」というぐあいと言われると、なるほどなるほどということで、現在、この季刊いいことも150号くらいに近づく時代になっています。そういうぐあい、とってもクライアントに対する説得力がすごいですね。そういう意味で、私は河北先生から教えられたことがいっぱいあります。

先ほどの時間の取り合い、それから例えば、ポスターのロケ地を事前に私には

教えてくれないです。全く、会社の人にも教えてくれない。それはなぜ教えてくれないかということ、ちゃんと説明してくれるんです。どういふぐあいに説明するかというと、カネボウと資生堂の口紅戦争というのが昔ありまして、資生堂の方が来年の口紅のはやりの言葉をこのようにしますというぐあいに発表するわけですね。そういうような口紅戦争というのがあって、あるときに、資生堂が考えた口紅の色の表現をカネボウさんが先取りしたらしいんです。それで資生堂の方はもう大変なことだと。自分たちがずっとそのシステムで来年、発表するというもうスケジュールが決まっているのをカネボウさんに先取りされたわけです。誰がこれをしゃべったのかということになって、いろいろ調査をしてみたところ、どうも社長からその言葉の表現が漏れたらしいと。「西さん、あなたが一番、危険な人なんだ」と。だから、例えば、南アフリカにロケに行くよというようにして、今度、南アフリカにロケに行って、こうこうこういう場所でロケをして、その映像を持ってきますというぐあいにもし事前にしゃべったときに、ほかのライバルの会社が、いいこは南アフリカでロケするんだということになると、先取りして、そこでロケをされた場合に、もうせつかくつくった映像が全くもう陳腐なものになってしまうと。そういう意味合いで、あなたが一番、危険なので、あなたにこれはしゃべらないんですよというぐあいに、私に説明するんですね。それはもうとつても全くそのとおりでというように、私も納得して現在に至っています。

ですから、河北先生が発案した例えば、今度、イギリスに行きます、今度はロンドンに行きますとかそういうようなことは全く私には教えてくれないです。ですから、そういうような意味合いで、このクライアントとデザイナーの関係というのをとつてもよくよく御説明をしていただいて、私たちが納得する仕組みになっています。（中略）

さて、焼酎というものをこのようにイメージを高めていただいたベリエールの河北先生のおかげで、今現在があるわけですがけれども、なぜ焼酎というものがそのようになったかということ、今から50年前、皆さん、もうほとんど若い人が多いですから、この焼酎のイメージがこんなふうになり下がっておるということはわかってないと思いますけれども、ウイスキーがあつて日本酒があつてビールがあつて、焼酎というのは昔は贈答にも使えないというのがこの世界の商品でした。

ですから、焼酎を飲むこと自体、もう非常にイメージの低いお酒を飲むというような状態でありましたけれども、なぜそのようになったかということ、戦後すぐは、密造酒というのがはやりまして、その密造酒をつくる場所が豚小屋とか鳥小屋とか非常に不衛生な場所で作られておったんです。なぜそのような不衛生なところでつくられるかということ、焼酎をつくると、焼酎の発酵の香りがすぐもう付近にわかるわけです。ですから、焼酎をつくっているということがすぐ税務署や警察の方にわかる。そういうようなところでつくられるお酒は非常に不衛生につくられるものですから、メチルアルコールの含有量の多いお酒ではびこったわけでありまして。ですから、焼酎を飲む方は目をとられてちょっと目が不自由にな

るとかというような意味合いでとってもこれは危険な飲み物として世の中にはびこったと。

それで、市場で流通する場合も、一升瓶が入って流通するんじゃないんです。一升瓶が入って流通すると、すぐ「それは何だ」というぐあいに言われますので、皆さもおわかりになる方は少ないと思いますけれども、昔、ダンロップの氷枕というのがありまして、そのダンロップの氷枕の中に焼酎を入れてそれを一升幾らくらいでお互いが闇酒でやりとりをします。そういうようなお酒でございましたので、非常にイメージの低いお酒でございました。それを河北先生のおかげで、実は焼酎がぐんとイメージが上がって行って、今日はもう全くウイスキーや日本酒やそういうものと引けをとらない状態になって、焼酎業界はとってもありがたい今、状態になっています。

私のほうが売り出して、広島で当時、今からもう20年くらい前になると思いますけれども、キープ祭りというのがありまして、業務店がキープしたお酒で売り込むというようなそういうことがありまして、ある業務店のキープ祭りというのがあって、そのキープ祭りにジョニーウォーカーの黒ラベル1本1万円、いいちこの900ミリも1本1万円で売り出したんですね。そして、私に、「キープ祭りでいいちこを出すよ」と言うから、「へえ、そりゃあもうジョニーウォーカーの黒ラベルが絶対、出ますよ」と、言ったんだけど、2カ月後に言ったときに、「西さん、どっちがたくさん出たかと思いませんか」と言うから、「そりゃあジョニーウォーカーの黒でしょう」と言ったら、「いいちこが3倍、たくさん売れたんだよ」ということを聞いて、これからはジョニーウォーカーの黒ラベルといたらアルコール度数が45度あるわけです。いいちこの900ミリのボトルはアルコール度数が25度です。ですから、アルコール度数で皆さんは飲んでないんだということがそのときにはっきりわかりまして、とってもそれが自信につながっていったわけでありまして。

そういうようなことで、現在でもこのベリエールさんの企画はとってもありがたい。そういうような状態で、私に最初に河北先生が教えてくれたのは、「広告というのは見てくれない、理解してくれない、それからそういうものを見てください、理解してくださいというのが広告なんだよ。地下鉄の駅になぜこのポスターを張るようにしたかという、地下鉄の駅というのは景色がない。そこに実はポスターがあれば、みんなが見てくれて、それで理解してくれるので、それで地下鉄の駅に張るポスターをつくるんですよ」というぐあいに河北先生から教えてもらって、現在でも営団地下鉄の駅に全国に張っています。

河北先生が言われるのは、「地下鉄の駅というのは比較的きれいだ。ですから全国の、東京の地下鉄、名古屋の地下鉄、大阪の地下鉄、仙台の地下鉄という比較的きれいな場所にポスターを張られれば、そこが見てくれて非常に注目度の高い場所になるんですよ」というぐあいに教えてくれるわけでありまして。

そういう事柄がずっとずっと続きまして、現在もおかげさまで今、3億8,000万円くらいの会社が450億円くらいの会社になることになっています。そ

うというようなことをこれからも誠実に続けることによって皆様のおかげでこれを持続していきたいと思えます。

今、私の役目は、物は売ってくれる人があって買ってくれる人があるという、この2つがないと物は売れないです。幾ら買ってくれる人があっても、売ってくれる人がいないと物は売れないんですね。幾ら売ってくれる人があっても、買ってくれる人がいないと物は売れないです。ですから、買ってくれる人があって売ってくれる人が。買ってくれる人をつくるのは、河北先生にお願いして今、買ってくれる人がたくさんおられるわけでありませう。私は、今は売ってくれる人をたくさんつくるというのが私の役目だと思えて、今でも一営業マンとして全国を駆け回っています。

これからも、そういうぐあいに一生懸命に頑張っていきたいと思えます。河北先生から「ブランドをつくるというのは、あなたがつくるんじゃないんですよ。お客様からつくられるんですよ、ブランドは。お客様がつくってくれるのがブランドなんですよ。あなたが幾ら頑張ったってブランドはできない」そういうぐあいに教わっています。

そういうことを今、地道に積み重ねながら、これからも河北先生のいろいろな教えを守りながら、これからも一生懸命にいいものをつくっていきたいと思っておりますので、私のお話はこれで終わりたいと思えます。

きょうはどうもありがとうございました。

○司会　西様、ありがとうございました。

皆様、貴重な講演をいただきました先生方、お二方にいま一度、大きな拍手をお送りください。

(拍　　手)

「地域社会に貢献する 建築士を目指して」

公益社団法人日本建築士会連合会

会長 三井所 清典

第 59 回建築士会全国大会(大分大会)をここ別府市において「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」で地域の創生 おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵をテーマに掲げ開催いたしましたところ、公務ご多忙にもかかわらず、国土交通大臣を始め、大分県知事、別府市長並びに関係団体の代表の方々にご臨席を賜りましたことは真に光栄なことと、心より感謝申し上げる次第です。

さて、平成 28 年 4 月 14 日と 16 日の 2 度にわたる大地震に襲われた熊本地震で被害に遭われました多くの会員におかれましては、必死にその後始末と復興に向けた準備に忙しく取り組まれていることでしょう。また、各地で集中豪雨や台風による被害が続発しています。更に、先の東日本大震災の復興も、まだ道半ばというところで、住まいの建設や諸々の建築はこれからというところも少なくありません。思えばこれから発生する災害を予想して、事前に準備することも次第に明らかになってきました。我々建築士と建築士会は今こそ復興と防災に向かって、連携し、有効な活動の方策を見出さなければなりません。

よく、自助・共助・公助とありますが、そのための「知恵」と踏み出す「気力」が求められています。どうか被災地からは遠慮なく具体的な救援の必要を発信して下さい。幸い、平常に暮らせる地域の建築士は必ずその救援に立ち上がると思います。そして、生活復興に取り組める当面の住宅復興と建築復興を急ぐ努力を皆んなでいたしましょう。

熊本地震では、応急危険度判定活動から始まる被災の初期対応に多くの建築士が積極的に対応しました。特に、国土交通省住宅局の要請による相談業務対応や、文化庁や日本建築学会と連携した歴史的建造物のヘリテージマネージャーによる被災調査は、九州ブロック各建築士会の応援活動で順調に実施されました。参加されました建築士会と建築士の皆様に感謝し、心よりお礼申し上げます。

大分大会では「木造建築フォーラムー地域でたちあげるこれからの木造建築」をはじめ、この数年、建築士会が重点課題としている「防災まちづくり」、「福祉まちづくり」、「街中(空き家)まちづくり」、「歴史まちづくり」の各部会が先駆的な地域の活動事例の紹介や、これからの活動について討論するセッションが計画されています。また成熟期となった現在、改めて「和室」を取り上げる女性委員会の報告はクールジャパンや和の味わいという新しい波と呼応するものです。そして恒例となっています青年委員会の地域実践活動報告は、全国各ブロックの選考会を勝ち抜いた優れた活動の熱気溢れる報告です。また、まちづくり委員会の今年のまちづくり大賞を決定する発表会も毎年評判よく、全国各地の素晴らしいまちづくり活動が競われ、多くのまちづくり活動が表彰されます。また、建築士会全国大会に際して行われる全国ヘリテージマネージャー大会は、各地の活動報告と今年は被災地熊本でのこれからの取り組みについて討議されるものと期待しています。

もう一つ、本大会で注目してもらいたい環境部会の活動報告があります。2020 年の省エネルギー基準に向けて各地域にふさわしい住宅の省エネルギーガイドラインをそれぞれの地域で作成する

こととなりますが、地元の建築士が積極的にそれぞれの自治体に協力連携することが欠かせません。各建築士会にはよろしくお願い致します。

このように、さまざまに企画された大分大会のイベントを会員の皆様が大きい楽しんで下さることを願っています。

ところで昨年、建築士法が改正施行され、建築主との書面による契約書の締結や、建築主から建築士本人確認のために建築士に課せられた建築士免許証の提示等が義務化されました。また併せて、建築士の懲戒処分基準も見直されました。

建築士は自らを律し、品位を保持し、建築士としての誠実な業務の遂行が一層求められることになりました。建築士会及び建築士会連合会は、建築士が市民や地域社会から期待される役割を支障なく遂行できるよう、一層努力し、支援して参る所存であります。

最後に、本大会開催のために数年の月日を使い、細部に至るまで準備万端整えることにご尽力下さいました公益社団法人大分県建築士会・井上正文会長始め、役員並びに会員の方々、事務局のお骨折りに厚く感謝申し上げます。また、ご支援を賜りました国、県、市や地元の関係者のご厚意とご理解に対し、心よりお礼申し上げますとともに、本日、ここにお集まりの方々のご健勝、ご繁栄を祈念し、挨拶とさせていただきます。



○国土交通省大臣官房審議官 伊藤明子様

ご紹介にあずかりました、国土交通省官房審議官伊藤でございます。

本日は第59回建築士会全国大会の開催、誠にありがとうございます。また常日頃、国土交通行政でとりわけ建築住宅行政に関しまして多大なるご尽力をいただいております事に関しまして、心から御礼申し上げたいと思います。

本日、大臣が参れませんので、私、祝辞を預かっておりますので代読をさせて頂きたいと思っております。

祝辞、第59回建築士会全国大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。日本建築士会連合会におかれましては、我が国の建築物の質や技術の向上などに、永年ご尽力いただいております深く敬意を表する次第であります。

また、4月に発生した熊本地震においては、被災建築物の応急危険度判定など多大なご協力を賜り、あらためて御礼申し上げます。建築物は我々の生活や経済活動の基盤であり、誰もが安心して快適に使用できることが極めて重要であります。その為には、的確な設計、工事管理による建築物の安全性や快適性の確保はもとより、少子高齢化への対応、省エネルギー性能の向上、2020年東京オリンピックパラリンピック大会も視野に入れたバリアフリーへの対応、基礎ストックの活用など様々な課題に対応していくことが必要であり、国民や社会から寄せられる皆様への期待も大きくなっているところであります。

このような中、これらの期待に応えた建築物の設計、工事管理、施工を行っていくことの重要性は、益々高まっていくものと考えております。皆様には、引き続き業界をリードしていただきつつ、優れた業務に取り組んで頂きたいと思っております。また、皆様が携わられた建築物が社会的な資産として地域に根差し、多くの方々に長く活用されるストックとなることを期待しております。

国土交通省といたしましても、耐震、省エネルギー性能などに優れた優良な建築物供給への支援、良好な景観形成推進等により、皆様と一緒に良質なストック形成を図ってまいります。引き続きこれらの取り組みに対する皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

結びに、貴会並びに会員各位の益々のご発展と本日ご臨席の皆様のご健勝ご活躍を祈念致します。私の挨拶とさせていただきます。

平成28年10月22日国土交通大臣石井啓一、代読、大臣官房審議官伊藤明子様。

本日は、誠にありがとうございます。

○大分県知事 広瀬勝貞様

皆さんこんにちは、ご紹介いただきました地元大分県知事の広瀬でございます。今日は全国各地から、かくも多くの皆様方にご出席いただき、こうして盛大に建築士会全国大会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。そして、なんと申しましても嬉しいことは、大分県はこの別府で開催をしていただいたということでございまして、本当に光榮に存じております。皆様方のご来県を心から歓迎申し上げる次第でございます。

皆さん方は、建築士として住宅やその他の建造物の建築設計、あるいは現場管理等を通じて、安全安心で快適な建物の建設に携わっておられる。しかもこの仕事は、建築士という高度の資格を持った皆さんしか出来ないことでありまして、本当にありがたいことだという風に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。皆さん方は、由緒ある建物の保存や改修、或いはまた、地域づくりと、あらゆることを通じて広く地域の再生にも力を注いでいただいております、これもまた大変にありがたいことであるという風に思います。

平常時だけではなくて、災害の時にも大活躍をいただいております。先ほどお話がありましたが、熊本地震の時にも、安全性の判定だとか、あるいは被災状況の判断だとか、いろいろ皆さんでなければ出来ない仕事でありまして、大勢の皆さんが現地に出かけて行って、ご活躍をいただきました。心から御礼を申し上げます。昨日の鳥取の地震でも、早速建築士会の皆さんが出かけておられるということで、手っ取り早く仕事をして頂いていることに心から感謝を申し上げ、敬意を表する次第でございます。大分県もいろんな面で皆様方にお世話になっておりますけれども、最近大変お世話になったことがあります。それは、大分県立美術館、全国的に見ましても公立美術館建設の最後のステージじゃないかと言われております。その大分県立美術館を作ったということでございまして、ここにおられる三井所連合会長さんが設計者を選ぶ審査委員会委員長をやってくれました。いろいろご審議の結果、坂茂さんという設計者を選んでいただきました。この人がせつかく三井所会長に選ばれたということで渾身の力で設計をしていただきまして、その後彼はプリツカー賞を受賞するという幸運に恵まれました。私ども大分県も設計者や施工者とともに日本建築大賞を得るという名誉をいただきまして、大変にお世話になった次第でございます。建築士三井所先生の御蔭だと、足を向けて寝れないと思っているところでございます。もっとも大分県では、この御蔭で三井所先生も連合会の会長になったという話もあるぐらいでありました。みんなハッピーになった次第でございます。

今、地方創生と言われております。まちと仕事の創生ということが言われておりますけれども、特にやっぱり今からは「まち」だと、快適で過ごしやすい地域を作っていく、環境にも十分に配慮した環境を輝かすような建物を造っていくということが大変大事でございまして、建築士会のみなさん方が知恵を絞って、どんな材料を使いながら、木材などをうんと使っていただきますと大分県は大変助かるのでございまして、エ

コロジカルな材料を使いながら、環境に優しい、そして機能的な、快適な物を造っていくというのは、大変待たれる時代になってきたというふうに思います。おんせん県大分で湧きあがる知恵が今度のテーマということで、ぜひ知恵を絞ってこれらの課題にしっかり対応できるような、ぜひ実り多い会になりますことを心から祈念申し上げる次第でございます。これだけお帰りになっては大分県はもったいないない、もうお気づきの通り、海も山も大変に美しい恵まれた天然自然をもっております。温泉も各地で湧いております。「おんせん県大分」というぐらいでございます。そしてまた、そういう美しい天然自然の中で育まれた山海の珍味も沢山ございます。ぜひこの大会の後には、そういう大分県を十分に愉しんで頂ければというふうに思っているところでございます。大分県は文明開化のイデオログ福沢諭吉翁の故郷でもあります。福沢翁は今、日本銀行券に顕在でございます。皆さん方が大分をエンジョイしていただきますと福沢諭吉翁も久方振りに大分県に里帰りができる、こういう仕掛けでございますのでどうぞお楽しみを願いたいというふうに思います。重ねて皆様方のご来県を歓迎申し上げましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○別府市長 長野 恭紘様

皆さまこんにちは、ご紹介いただきました地元別府市長の長野と申します。本日は第59回の建築士会全国大会大分大会が、私ども地元、この別府市で開催をしていただくことに心から感謝を申し上げ、皆様方を歓迎申し上げたいと思います。ようこそ別府においでいただきました、ありがとうございました。先ほどのブレイブスで本大会は半分以上成功ではないかと個人的には思っております。私の後輩たちでも実はございまして、私は野球一筋でございましたけれども、まさに大分県を代表する大分の誇りであります。十分にご堪能いただけた後に、しっかり本大会を成功させていただきたいと、私ども念願をしておりますけれども、先ほどご挨拶いただいた地元の井上会長をはじめ、幸副会長、そして地元の役員の皆さん、そして会員の皆さん方から、私も別府でなんとか開催をしたいということで、一年半以上前からご相談をいただいておりますので、私も何か主催者の一人として大変に感慨深いものもありますし、先ほどの知事の話ではございませんが、福沢先生の里帰りという話もございまして。これだけビーコンのコンベンションホールが埋まると、旅館ホテルを始め、飲食店の方々が本当に喜んで皆さん方をおそらく前夜祭からお迎えをいただいているのではないかと思いますけれども、ぜひ大分を堪能していただきたい、また別府を堪能していただきたいというふうに思っているところでございます。先ほどから地震の話もございました。鳥取も昨日大変な地震がありましたし、大分も震度4もしくは3の地震に見舞われました。私も就任一年、ちょうどほぼ一年でこの震災の被害を受けたということで、私も陣頭指揮を執らざるを得ないといひますか、執って

きたわけですが、十分に南海トラフの地震を始め、津波対策でありますとか二次災害を想定した対策を講じてきたつもりでありました。しかしながら、津波はありませんでしたけれども、地震の被害だけでも私どものいわゆる日頃からの備えを上回る被害があって、延べ人数で1万2千人以上の方々が避難をされて、罹災証明は、今7千枚を超える事態となっています。一部損壊が5千件にも上っておりまして、義援金や支援金ではなかなか追いつかないという状況の中、自分自身で考えるだけではとてもじゃありませんが知恵が浮かびません。大分県に相談をし、国にも相談をさせていただきながら、復興建設券というものも発行して何とか日常の生活を取り戻す賢明な努力を今させていただいて、また、観光振興、観光の復興に向けても懸命な努力を続けているような状況でございます。昨日、井上会長や役員の皆さんとお話をさせていただきましたけれども、自助、共助、公助の3つが三点セットであります。しかし現実の問題として公助の部分が力を発揮するのは、ずっと日数が経ってから、もしくは時間が経ってからというのは、私が現場で実感をしました。自助、公助、発生直後はやはり、自助、共助に頼る以外ない、ということを考えますとやはり、日ごろの備え以外には対策を講じるすべはないということになるわけございまして、ということは、やはり公共建築物はもとより、一般住宅においても、その構造でありますとか、また間取りでありますとか、もっと大きく言えば、町づくりや都市計画自体を建築士の先生方に入っただきまして、ゼロベースで見直していかなければいけないというような事態になるのではないかと考えております。

南海トラフの地震は、ほぼ90%近くの確率で数十年のうちに来るといふふうに言われております。それであるならば、しっかりとその備えをしなければいけません。今までも十分に連携をして頂いて助けていただきましたけれども、またこの全国大会を契機に別府はもとより、それぞれの地域で建築士の先生方が中心となって都市計画、町づくりをもう一度見つめ直す機会に私どもしていきたい、またそういう機会にして頂きたいと思っております。

結びになりますけれども、建築士連合会、またご参集の皆さん方の益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げさせていただきます、御礼と歓迎のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

実行委員長・各部長の報告

全国大会終了のご挨拶

大会実行委員長 幸 勝美



全国一般の方も含めて約3,300名が集った『第59回建築士会全国大会「大分大会」』が盛会に終了することが出来ました。参加して頂いた会員の皆様、ご来賓の皆様にご心から感謝申し上げます。特に大会の企画から準備、運営に携わって戴いた大分士会の皆様、ご支援ご協力を戴いた団体・企業の皆様にご心から感謝し御礼申し上げます。

当日は生憎の雨模様ではありましたが、会場内は多くの参加者と心を込めてお世話をする大分士会の皆さんの熱気で活気が溢れておりました。数々のフォーラムやセッション、記念講演や大会式典、大交流会については各部長さんのコメントにもありますように、参加者の皆さんに十分楽しんで戴いたことと思っております。会場外では空港・駅での出迎えやシャトルバスへの誘導、駐車場・会場内への案内など雨の中を笑顔で対応して戴きました。また、「うまいもの市」では雨の中カッパ姿で来場の案内やゴミ袋の片付けを献身的に行っている姿に頭の下がる思いで胸がいっぱいになりました。このように会場内外のあちこちで井上会長の3つのキーワード「参加者に楽しんでもらう大会」・「お世話は大分士会全員参加で」・「大分士会会員と他県建築士会員との交流」が実現できとても嬉しく大成功だったと確信しております。

平成26年7月31日に準備委員会を開催して依頼2年3ヶ月余りの間、実行委員会・部会調整会議・各部長会議や現地視察など数十回にのぼる打合せの中で企画、検討、準備された各部長皆様のご苦勞があつてこそその成果であると改めて心から感謝申し上げます。私自身は実行委員長とは名ばかりで各部長の皆様の努力と部会担当役員の調整力に頼るだけでしたが、「全国大会を成功させる」という皆さんと同じ目的で過ごした時間がとても有意義で大切な経験をさせて戴いたことに重ねて感謝申し上げます。

最後に、次回の第60回建築士会全国大会「京都大会」の成功と大分士会員皆様の御活躍、各支部の益々のご発展をご祈念申し上げ大会終了の挨拶とさせていただきます。

全国大会大分大会を振り返って

総務部会長 樋口邦彦



全国大会へご参加いただいた皆様、大分（別府）へお越しいただきありがとうございました。「地方創世」をテーマとした“手作り”の大会を満喫いただけたでしょうか？

各フォーラム、記念式典でのパフォーマンス、記念講演、大交流会、エキスカーション、大分うまいもの市、お土産、そして温泉と「おんせん県おおいた！」を十分味わっていただけたことと思います。

振り返れば、約2年前から準備を始め、総務部会といういわゆる「何でも屋さん」のような役割をいただき、各部会員の積極的な協力により無事日程どおり大会を終えることができました。

大会準備のボランティアスタッフの手配、300人を超えるスタッフの作業配置名簿の作成、地元企業ブースの手配、うまいもの市出店者の手配、記念講演者との事前調整、急病人のための看護師手配、弁当や食事券の手配、前日夜までかかった袋詰め作業、当日朝の雨天による屋外会場の砂入れ作業、ゴミ収集など、事前準備から当日の裏方まで全てにおいて総務部会員一人一人が時間を惜しまず「おもてなし」の心を持って取り組んでいただいたおかげだと感じています。

また、大分県建築士会及び連合会の事務局員の方々に多くのサポートを頂いたおかげで無事大会を終了できたことに感謝を申し上げます。

担当部会員（敬称略：順不同）

末成祐二（担当副会長）、穴井輔嘉（担当専務理事）、足立忠明、中道了子、後藤憲二、三浦 望、佐藤暢彦、藤澤隆介、利光由江、廣井孝信

大会を振り返って

財務部会長 若杉 政美



私が全国大会を大分で開催されるかもしれないと知ったのは、5年ほど前でした。20年ほど前から参加させていただいている大会ですので、その開催県の方々が大変な思いをしながら準備をしているかを聞いていました。その大会を大分で、どれくらいの準備が必要なのか当初は雲を掴む思いでした。各部会で行われている会議や調査の多さ、この人数で対応できるのか等々、でも実行委員長が決まり、その会議を重ねていくにつれて大丈夫ではないかと思うようになり、安堵したことを思い出しました。

当初の予算では入金に対する出金が多く厳しい状況でしたが、会員皆様のご尽力により協賛金も予定より多く集まりました。各部会の皆さんには、出金を抑えるようご配慮いただき、記念誌費用まで捻出できましたのは、皆様のご尽力によるものだと思います。改めましてお礼申し上げたいと存じます。

大会は、今後も続いていきます。皆さんがご尽力されたものと同様に開催される場所では、同じことが行われていくと存じます。私共が参加する事で開催される場所では、同様の達成感を味わえる事と存じますので、今後とも参加していこうと思っておりますし、皆さんの参加も希望しています。

担当部会員（敬称略：順不同）

穴井輔嘉（担当専務理事）、児島 亨、福田梨恵（事務局）

大会を振り返って
式典部会長 山本伸二



全国大会（大分大会）平成 28 年 10 月 22 日の開催に向けて式典部会は平成 26 年 12 月中旬に担当役員、部会長、副部会長が決まり、その後年明けの平成 27 年 1 月には式典部会員の 17 名と事務局担当者 1 名で組織が決まりました。当初から”大分での特色あるおもてなし”を大きな目標とし実行可能であろう事項を抽出し立案しそこに向けて協議を始めていました。部会内を「アトラクション」、「運営・おもてなし」チームに役割分担で進めてきたところです。しかし、その後の 4 月には交流会会場が手狭ではないかと実行委員会から問題提起があり、式典会場の分散開催案が提案されました。このことは最初で最後の最大の喧々諤々事項だったと思います、部会のこれまでの協議事項の変更も心配されることでもありましたが、式典部会の希望とするアトラクション行事を最優先することを重要な理由とし、当初の会場案で交流会会場との円満な面積調整で解決され安堵したところでした。そのころ人員不足ではないかとされ別府支部の 3 名を部会員に加わって頂き総勢 21 名で大会日まで協議を重ねて来たところです。部会員は士会員の行政、大学、設計と多岐にわたる職種の会員にて月 1 度の会議を目標に集まって来ました。また、部会設立からメーリングリスト（ML）を立ち上げ多く個々の協議に利用して来たところです。その回数は会議録から全体会議は 22 回、持ち出し会議は 4 回、ML では 1110 通と多くの協議を重ねて来たところです。よって、式典部会運営マニュアル、式典進行台本と緻密に制作されたものは大いに有用活用されました。ここでも個々の職種能力が活用されたのではないのでしょうか。

大会当日は準備、片付け等の応援で多くの方々のご協力、参加をしていただきました。嫌な顔ひとつせず、動きは整然とし、テキパキと準備をしていただきました。”ありがとうございました”。また、一度も対面したことのない司会者（江藤愛さん）との短いリハーサルも大分県出身であることもありスムーズに進めることができました。こんな仲間とあることに向かって取り組むことは難しいことも多かったです。とっても有意義な時間、2 年間だったと思います。すべてに”成功”という言葉を思い浮かべ気持ちのよい終焉でした。最後に式典の装飾にご尽力していただいた和田さん、別府市竹細工伝統産業会館の方々ご厚意ありがとうございました。

担当部会員（敬称略：順不同）

藤原秀樹（担当副会長）、近藤正一、辰本健治、重田信爾、一宮嘉宏、坪井由香、久松千恵、赤峰秀樹、平清朗、二宮正治、板井利世、廣井孝信、阿部正慶、中原健阿部哲也、市野瀬康平、竹長敏夫、石田直也、岡松健太郎、丹生和美（事務局）

全国大会「大分大会」を終えて
会場部会部会長 寺林貞臣



まずは、全国大会「大分大会」が約3,200人を超える多くの登録を頂いた事と、開催に携わった皆様方のご協力のおかげで無事成功裏に終了した事に対しまして心より御礼申し上げます。会場部会の役割は、会場内外の誘導看板・横断幕・のぼり等の設置とパネル展示・椅子テーブルの配置換え・会場内のインフォメーションや、場外では駐車場の誘導・シャトルバスの運行運営・駅や空港での歓迎等の役割を担ってまいりました。大変残念だった事は、当日本番で雨が降り続いた事と、鳥取県で大規模地震が発生した事でした。メンバーが駅で歓迎を行っていたところ、鳥取からみえた団体が電車から降りて来るなり、「我々は地震が発生しましたので、このまま鳥取に引き帰しますので、皆さんに宜しくお伝えください。」との事でした。また雨の為、空港でのタイヤが大幅に乱れ、シャトルバス運営にも大きく影響が出ました。駐車場の誘導も傘とカッパを着て対応させられ、当日携わったメンバーの皆さん大変ご苦労おかけしました。お疲れ様でした。最後になりますがご来場頂いた建築士の皆様、雨の中移動等も大変だったでしょうが、大会の内容にはご満足いただけたのではないのでしょうか。ある意味、記憶に残る良き大会であったと思います。またあらためて湯の町別府へお越し下さい。

担当部会員（敬称略：順不同）

藤原秀樹（担当副会長）、興田昌英、渡辺誠司、阿南英彦、瀧石雅一、三明保則、榎本剛、清末幸生、北口芳康、後藤堅、梅木恵美、古庄真次、板井祐輔、渡辺賢一

広報・記録部会

部会長 山村 広明



広報・記録部会は、大会のポスターやパンフレット、プログラム冊子等の作成、また前年に開催された石川大会でのPR活動、及び当日の撮影記録を担当しました。

大会当日の運営に直接関わる部分は少ないですが、大分をPRする一番の舞台である石川大会を目標に、ポスター、パンフレット、PRビデオ、スタッフジャンパー、幟、横断幕、名刺といった広報グッズの作成から、お土産のお菓子の選定、そしてPRの方法等について部会メンバーで検討を重ね準備を進めていきました。大会には急遽参加できなくなり、本当に残念な思いでしたが、青年部をはじめ、多くの会員の方々には、ブースの設営から大交流会でのアピールタイムまで、PR活動にご協力いただき、大変感謝しています。

この後は、各都道府県士会へのポスター・パンフの発送や大会ホームページの開設とともに、当日配布するプログラム冊子の原稿校正を締め切り直前まで行い、なんとか印刷製本を間に合わせることができました。大会当日は、部会メンバー全員で写真撮影に走り回り、後日、その大量の画像データを行事等の項目ごとに編集し業務を終了しました。

今回、数十年に一度しかない、地元開催の全国大会に関われたことは、大変貴重な経験となりました（長い準備期間だったので、大会が終わった直後は、なんとなく気が抜けたような感じでした）。大分大会は、県士会全員で参加者ファーストの「おもてなし」ができた大会だったと思っています。皆さん、大変お疲れ様でした。

担当部会員（敬称略：順不同）

末成祐二（担当副会長）、渡邊豊基（担当副会長）、亀谷芳久（担当常務理事）、田島薫、高橋由美、後藤憲二、日高雄介、中原健太郎、廣藤啓二、後藤悟、山本健太郎、篠崎真一

大分大会を振り返って
フォーラム部会
部会長 竹尾憲和



「記憶に残るフォーラム」「おもてなしのフォーラム」「楽しむフォーラム」が我々主管の交流セッションを開催するにあたり最初に考えたことです。そのために日頃私たちが慣れ親しんでいる行為、実践している活動、歴史的建築物、これからの課題などを全国の方々に紹介し尚且つ楽しんでもらえるように、遊びの要素を取り入れ参加者全員にお土産を持って帰っていただくように各フォーラムを企画しました。

折り紙建築フォーラムでは大分のオリジナル作品を製作していただき、足湯まちづくりフォーラムではビール片手に足湯に浸かりまちづくりへの取組を聞いていただき、ヘリテージマネージャーフォーラムでは別府市公会堂（旧中央公民館）にてパネル展示と共に実際の歴史的建築物を堪能していただき、木造建築フォーラムでは 220 名を超える多数の会員に参加をしていただきました。

開催県主管の交流セッションとしては、近年にない大規模かつ有意義なものになったのではと感じていますが、それもこれも各担当責任者が時間と労力を惜しまずにフォーラムの企画、準備をしていただいた結果に他なりません。

この場を借りてフォーラム部会スタッフ全員に御礼申し上げます、ありがとうございました。

担当部会員（敬称略：順不同）

渡邊豊基（担当副会長）、籠田真一郎、伊藤憲吾、幸孝文、今橋周作、山崎哲也、三ヶ尻勝、竹宮浩一郎、首藤顕道、松田周作、山崎真司、辰本健治、廣藤啓二、姫野英二郎、畝崎俊秀、若松加奈子（事務局）

大交流会

部会長：浅野健治



今まで各地の全国大会を経験してきました。最後を飾る大交流会が重要な気がします。諸部会長が懸命に努力して作り上げてきた大会の流れ/空気を断ち切らない様にしようとしたが、出たところ勝負の感は大いにありました。

前回の金沢での大交流会の印象が強く、黒紋付の芸者衆に引けを取らないためにはどうするか。温泉はすでに前面に押し出されていましたので・・・こうなれば、いつもは別府の夜に華やいでいる選りすぐりのホステスさんの登場です。あの金沢黒紋付を凌駕するには、数で勝負をかけるしかないと考え、60 数名の選りすぐりのホステスさんたちをコンパニオンとして投入した次第です。おかげで事前の別府北浜界隈の調査に大交流会部会員は、随分と個人的な資産を投入いたしました。

それとジャズ演奏、戦後アメリカナイズされた別府が存在して、当時別府のいたるところでジャズが流れていました。そこで大人ムーディなトリオ+1 のボーカルミックスジャズ演奏で参加者を魅了しました。

特に料理には心配りをしました。大会テーマに掲げている大分県の多様性を意識して地域性をアピールしました。たとえば、ビュッフェ料理には国東山香仔猪の丸焼き、佐伯蒲江大ひらめの姿煮、緋扇貝、姫さざえの浜煮などが中央コンコースを飾りました。会場両サイドには大分郷土料理実演コーナーとして、別府冷麺、あつ飯、ごまだしうどんなど多数の郷土料理が所狭しと居並び、ご賞味された皆様方の満足げな顔がうれしい限りでした。

大交流会は参加者全員が感動のもとに終わって行ったのでした。

大交流会のセッティングに際して幸実行委員長と寺林会場部会長に頼ることが多く、それにより別府支部の連帯感がさらに強まったような気がします。

1 時間 30 分という短い時間ではありましたが、参加された全国の皆様には満足していただけたのではないかと考えます。

担当部会員（敬称略：順不同）

石井鏡成（担当常務理事）、椛田康一、衛藤三使、上岡伸明、河村靖、新山俊則、塩出清治、加来久生、渡辺賢一

大分大会を振り返って
地域交流見学会(エキスカーション部会)
部会長 武内淳一



無事に大分大会が終わりました。井上会長、幸大会委員長さんをはじめ、各役員の方々大変お疲れ様でした。好評の内に終了した事に大変感謝しています。

大分大会の開催が決定され、会員全員でその準備が始まりました。前年の金沢大会、その前の福島大会に参加し、その運営方法や大会の内容等々、肌で感じた事が本大会の準備に大変参考となりました。専門部会、全体会議と幾度となく会合を進め「おもてなしの心」を心に刻み、部会員一丸となって取り組んでまいりました。部会員をはじめいろんな方と知り合った事も私にとって大きな喜びです。

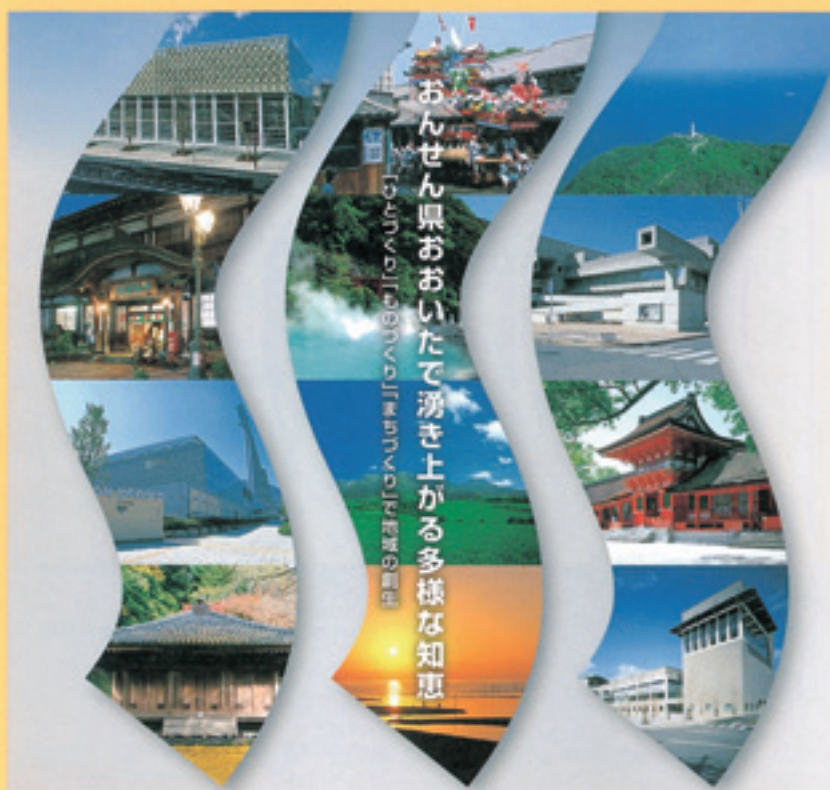
大会のメンバーとしてお手伝い出来た事を感謝いたします。エキスカーション当日は雨模様の出発となりました。Aコース(宇佐)、Bコース(国東・杵築)、Cコース(大分市)、Dコース(別府)、Eコース(湯布院)の五つのコースを廻りました。大勢の参加者が有り各コース共大変好評の内に終える事が出来ました。会誌建築士でも大分大会の報告が有ります、全員での集合写真、見学中のスナップ写真を見ますと全員笑顔で写っています。満足して頂けたと思っています。

最後に尽力していただいたエキスカーション部会員の皆様、特に副部長として補佐してくれた玖珠支部の瀧石雅一さん、各コース担当の部会員の方々、又ウエルカムメンバーとして心のこもったおもてなしをしていただいた、各支部会員の方々にはあらためて感謝申し上げます。有難うございました。

担当部会員（敬称略：順不同）

宮崎隆博（担当常務理事）、小川稔浩、瀧石雅一、板井利世、有田頼正、
光永剛、小山秀輝、奥田和彦、光井智、佐藤賢市、豊田博、山村増治

第59回建築士会全国大会大分大会
セッション資料集



平成 28 年 10月22日

公益社団法人 日本建築士会連合会

< 目 次 >

第 59 回建築士会全国大会大分大会
セッション資料集

セッションプログラム (タイムスケジュール)	3
会場一覧/会場案内	4
第 4 回全国ヘリテージマネージャー大会	9
木造建築フォーラム	33
和室についての報告 (女性委員会)	37
防災まちづくり部会	51
福祉まちづくり部会	75
街中 (空き家) まちづくり部会	101
地域実践活動報告 (青年委員会)	129
環境部会活動報告と今後の展開	151
建築士の BIM 活用 (情報部会)	181
建築相談本部会	197
歴史まちづくり部会	203
足湯でまちづくりフォーラム	227

詳細は冊子又は建築士会HP全国大会報告にて掲載しています。

木造建築フォーラム
地域でたちあげる
これからの木造建築

第59回 建築士会全国大会 大分大会

10月22日(土)

10:00 開催の御挨拶

10:05~10:35 第一部
(休憩)

10:40~11:35 第二部

11:35~11:55 会場質疑

11:55 まとめ

12:00 終了

第一部

日本の森林状況と地域 の都市型木造の可能性

日本の資源である木材が成長し使用する時期になりました。各地域で眠る資源の活用を建築からも切り開きたいと思います。地域が活性化し、求められる木造建築とは何か？を考えます。

腰原 幹雄

東京大学生産技術研究所・教授

<経歴>

1968年 千葉県生まれ

1992年 東京大学工学部建築学科卒業、2001年東京大学大学院博士課程修了、博士（工学）

構造設計集団<SDG>、東京大学大学院助手、生産技術研究所准教授を経て、

2012年 東京大学生産技術研究所・教授

NPO team Timberize 理事長

<著書>

「都市木造のヴィジョンと技術」（オーム社）、「感覚と電卓でつくる現代木造住宅ガイド」（彰国社）

<構造設計>

下馬の集合住宅、幕張メッセペDESTリアンブリッジ、八幡浜市立日土小学校耐震改修、油津運河夢見橋、金沢エムビルなど。

<受賞>

2013年 都市住宅学会業績賞

2012年 World Monuments Fund/Knoll Modernism Prize

2012年 日本建築学会賞（業績）

2010年 土木学会デザイン賞最優秀賞（油津 堀川運河）

2009年 第6回 木の建築賞 木の建築大賞（八幡浜市立日土小学校耐震改修）



現代木造建築

これからの

第二部

これからの現代木造の可能性を、木造建築に関して第一線でご活躍の皆様にパネルディスカッション形式でお話し頂きます。それぞれの専門分野を通し可能性を模索します。



稲山 正弘

東京大学大学院農学生命科学研究科教授、ホルツストラ一級建築士事務所 主宰、木質構造研究会 会長、中大規模木造プレカット技術協会 代表理事

＜経歴＞1958年 愛知県生まれ、1982年 東京大学工学部建築学科卒業、1982～86年 ミサワホーム勤務、1992年 東京大学大学院博士課程修了、博士（工学）、1990年 稲山建築設計事務所（現・ホルツストラ）設立、2001～02年 ものづくり大学建設技能工学学科助教授、2005～2012年 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授、2012年～ 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

＜専門＞木質構造の研究および構造設計

＜研究論文＞「木材のめりこみ理論とその応用」、「在来軸組木造住宅の構造設計手法の開発」など

＜著書＞「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」（共著）など

＜構造設計＞林野庁林業機械化センター、いわむらかずお絵本の丘美術館、岐阜県立森林文化アカデミー、ウトコリミテッド室戸工場、東京大学弥生講堂アネックス、近畿大学 E-Cube、熊本県鹿北小学校、北沢建築工場、オガールプラザ、住田町庁舎

＜受賞＞2002年 日本建築学会賞（技術）、松井源吾賞、2006年 杉山英男賞、2009 JSCA 賞、2013 日本建築士連合会優秀賞、2014年 日本建築仕上学会賞（作品賞・建築部門）



原田 浩司

木構造振興（株） 客員研究員、山佐木材（株） 営業部、ウッドストック 主宰

＜経歴＞1982年 広島大学工学部第四類構造工学課程卒業後、ゼネコンに入社、その後、木造住宅の工務店、木質構造専門の構造事務所、集成材メーカーを経て、現職に至る。

＜活動＞住宅から中大規模建築物、木橋など 大小さまざまな木造建築のプロジェクトに参画 各地の木材流通、生産組織の改革等にもコーディネーターとしてアドバイスをを行うとともに、林野庁や文科省が進める公共建築物の木造化推進に係る事業や、日本建築学会の委員会活動にも関わる。

＜資格＞一級建築士（構造一級建築士）、一級施工管理技士、技術士（森林部門・林産）



山代 悟

建築家、博士（工学）

＜経歴＞1969年 島根県生まれ、1993年 東京大学工学部建築学科卒業、1995年 東京大学大学院修士課程修了、1995～2002年 楨総合計画事務所、2002年 ビルディングランドスケープ設立共同主宰

2002～2009年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 助手、助教

＜教職＞大連理工大学建築与芸術学院 客員教授、日本女子大学、東京理科大学、東京電機大学 非常勤講

地域でたちあげるこれからの木造建築

～生産と流通の現状～

木構造振興(株)客員研究員
原田浩司

木造率(床面積ベース)

•平成23年度 •平成24年度

建築物全体
41.6 %

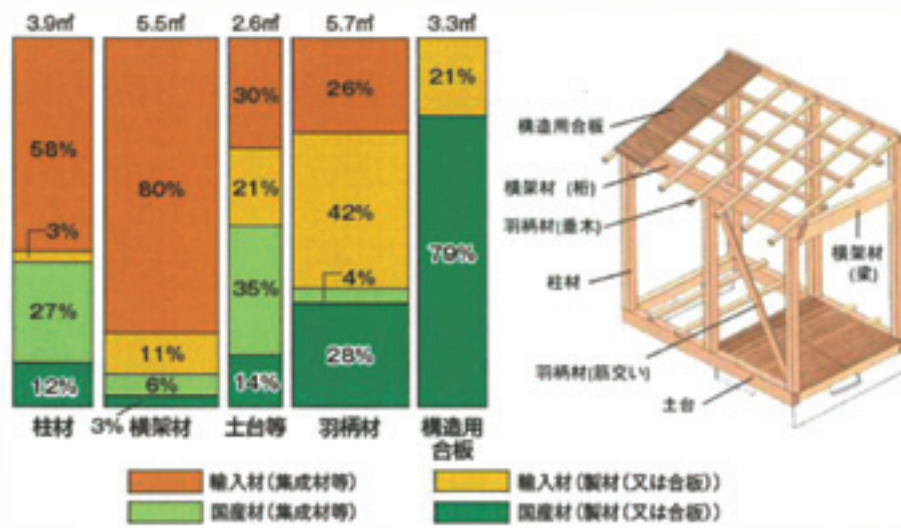
建築物全体
41.0 %

公共建築物
8.4 %

公共建築物
9.0 %

建築着工統計

資料Ⅳ－４１ 木造軸組構法における木材使用割合(部材別)



注1：材積は一戸当たり平均使用量。
 注2：国産材と輸入材の異樹種混合の集成材等・合板は国産材として計上。
 資料：一般社団法人日本木造住宅産業協会(2013)

国産材は当てにならない

品質

欲しいときに欲しい材料＝量が
集まらない

量(納期)

日本農林規格

JAS規格

等級区分

含水率

目視等級区分

機械等級区分

日本農林規格

施主

木材供給
業者

工事・設計
管理者

量(納期)

基礎工事



建て方



伐採



製材



乾燥



E



加工

W

森の恵みの循環活用



cozy_in_woodstock@nifty.com

BEPPU PROJECTの活動と創造都市

アートを地域経営のOSに

BEPPU PROJECT 代表理事
別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー
おおいたトイレナーレ 総合ディレクター
国東半島芸術祭 総合ディレクター
文化庁 審議会 文化政策部会 委員
第33回国民文化祭・おおいた 市町村実行委員会事業 アドバイザー

山出淳也

BEPPU PROJECT

WE CREATE NEW ART SYSTEM IN THIS LOCAL SITE.

www.bepuproject.com

〒874-0933 大分県別府市野口元町 2-35 管建材ビル2階
e-mail : info@bepuproject.com / TEL : 0977-22-3560 / FAX : 0977-75-7012

これまでに1000以上のプロジェクトを実現



BEPPU PROJECTとは ～アートを活かした課題解決力や価値創出力を持つ地域の創造的なエンジン～

別府市

人口：約12万人
 構成：第三次産業従事者 81.8%
 源泉数：全国1位 (2,217) ※国内総源泉数の約10分の1
 湧出量：全国1位 (毎分83,058L) ※2位湯布院44,486
 特徴：震災を免れた路地の多い街。外国人が多い



沿革

現在、職員14名、予算規模2.5億円程度(2014年)
 2005年 BEPPU PROJECT発足、マニフェスト設立
 2007年 創造都市国際シンポジウム開催
 2008年 リノベーションスペース「platform」設立
 2009年 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」を開催
 2010年 BP事業の開始、「ベップ・アート・マンス」開始
 2013年 大分県ブランド創造事業「Oita Made」の開始
 2016年 創造力×企業。クリエイティブプラットフォームの開始

文化芸術振興事業や学校へのアウトリーチ



文科省

地域の特徴を活かしたアートイベントや学校へアウトリーチ

移住・定住に向けた環境整備事業



総務省

クリエイター専用アパートや短期滞在施設(旅館含む)の運営

福祉施設へのアウトリーチ・障害者アート



厚労省

福祉施設へのアーティスト派遣や障害者アート展の開催

新たな観光需要を掘り起こす情報発信事業



観光庁

アートとともに地域の魅力を紹介する新規顧客の開拓事業

製品のブランディング・六次化事業



農水省

地域産品のプロデュース・販売を通して風土や景観を保全する

クリエイティブ×企業による産業振興事業



経産省

www.creativeoita.jp
 2016年9月に完成予定

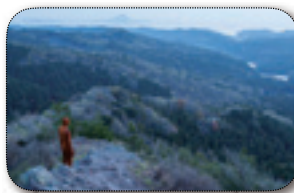
企業の課題解決や価値向上、マーケット創出に創造力を活用

2015年夏 県内全域での地域性を活かした多様な文化事業



ベップ・アート・マンス

市民文化祭 7月18日～9月27日



国東半島のアート体験

自然×アート 作品は常時鑑賞可能

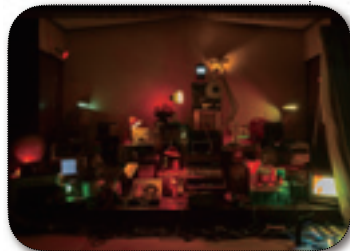
おおいとレインナーレ

県内各地を絵本列車で巡る
 7月～11月



混浴温泉世界

温泉街×アート 7月18日～9月27日

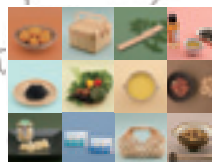


おおいとレインナーレ2015

都市×アート 7月18日～9月23日



Oita Made 大分の恵みを紹介



県内のアート×地域
 情報が満載
ARtrip大分
 無料配布



単一事業のスプロール化ではなく、コンパクトなエリアでの独自性の高い取組を連鎖させる星座型ネットワークを構築

これからの都市のあり方について考える

なぜ今、文化芸術が都市にとって必要なのか？

■20世紀 = 『成長』と『拡大』を基調とした大量生産・大量消費社会
これまでは『量』(モノ)を重視してきた

■21世紀 = 『成熟』と『均衡』にもとづく知識情報創造社会
今後は『質』(こころ)が尊重される

文化・芸術は、都市や地域の暮らしや経済活動で

『質』を高めたり、『新たな価値』を生み出していく要素となる。

経済 アーティストや起業家などの創造活動 = 常に新しい価値観への挑戦であり、生み出すこと。

福祉 多様な価値が同時に共存し、その違いを認め合うことが、社会や人生を豊かにしていく。

創造都市 (クリエイティブ・シティ)

創造階級 (クリエイティブ・クラス)

創造産業 (クリエイティブ・インダストリー)

文化を都市活性化の起爆剤に！ 文化を触媒に人と組織と社会を変える

提唱者：チャールズ・ランドリー (英)
「The Creative City」(2000)
後藤和子監訳 『創造的都市－都市再生のための工具箱』日本評論社

創造性：感覚的価値と産業経済をつなぐ
媒介として最重要に位置づける
→ 経済・組織・金融等の諸分野に
創造的変化の連鎖反応が起きる



「創造的都市とは、社会に関わること、
環境に関わること、行政に関わること、
そして政府に関わること、全ての分野
において、みなさんが創造性を発揮で
きる街のことです」

別府で行われた国際シンポジウムより(2007)

チャールズ・ランドリー (イギリス、コメディア代表)
1978年の設立以降、欧州を代表するシンクタンクとして30カ国
以上で都市再生・地域活性化など数百のプロジェクトを手掛ける

産業構造の変化 製造業などの20世紀型経済から知識情報経済に対応する必要性

小規模企業群のネットワークへ ヒエラルキー型組織からネットワーク型組織への移行

地域資源の活用 都市の文化遺産を市民の誇りにする。他都市の成功例の導入をしない

市民パワーの活用 政府・行政から民間・非営利組織への権限委譲。すべては人から

創造都市の成功例 ① スペイン・ビルバオ市 人口約35万人(バスク自治州の中心都市)

世界が驚く美術館を街のシンボルに位置づけ、世界に向けて発信する

- ・19世紀 産業革命によって鉱業、製鉄、造船業が発展。20世紀始めにはスペイン一豊かな都市と言われた
- ・1970～80年代 重厚長大産業の衰退(80年代の失業率16.2%。治安が低下)
- ・1983年 ネルビオン川が氾濫、都市部の大半が水に浸かる大洪水
- ・1990年 ビルバオ・メトロポリ30 設立 かつての工場跡地に美術館や文化施設などを整備する事業計画を策定
- ・1997年 ビルバオ・グッゲンハイム美術館オープン
空港、LRTなどの都市インフラ整備や再開発に取り組み、観光資源が皆無だったビルバオに観光客が急増

ビルバオ・グッゲンハイム美術館

建設費用：1.3億ユーロ(185億円)

入場者数と観光産業への波及

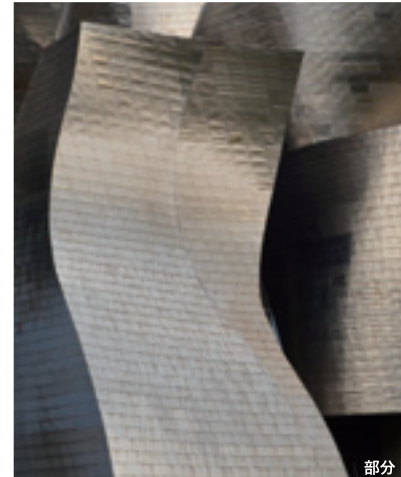
- ・開館後5年間(1997-01)で515万人。国外45%、バスク州以外の国内35%
- ・2002年：85万人、国外55%、バスク州以外の国内30%
- ・2009年：90万人

経済波及効果(開館後5年間：1997-01年)

- ・直接効果：7.8億ユーロ(1,279億円)
- ・波及効果(GDP生産増)：6.6億ユーロ(1,082億円)
- ・税収効果：1.2億ユーロ(197億円、5年間で建設投資を回収)
- ・雇用効果(年間平均)：4,100人

顧客満足度(2009年)

- ・全般的な評価では9点満点で7.71点→清潔さ(7.99)、従業員の対応(8.07)、ガイドツアー(8.16)など
- ・98%が美術館への訪問を他人に推薦、80%が再来館したいと回答→7人中6人が宿泊を伴うリピーター



部分

アートという国際的な共通語によってビルバオの魅力を世界に伝え、言葉での説明ではなく、感覚的に価値を伝えることに成功。世界的な観光地となった。

そして、ビルバオの住民が、自ら暮らす都市や地域に対する誇りを回復したことが何よりも大きい。

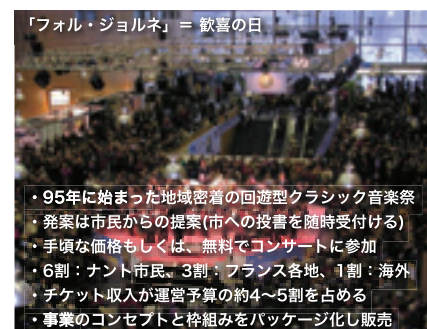
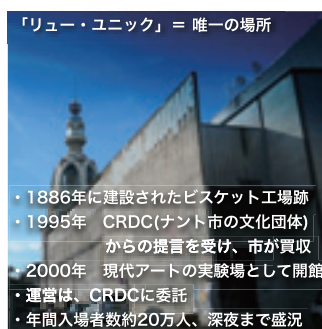
失業率40%を超えていた街が、わずか15年で最も住みたい街に変わった

- 1970年代 貿易や工業の中心がサン・ナザール市へ移転。
ナント市内の造船所が閉鎖
- 1980年代 重工業が衰退し経済的に厳しい状況
→ 大量の失業者(40%)
- 1989年 ジャン＝マルク・エロー 市長当選(当時39才)
都市再生の柱に文化を据えることを公約に掲げる
※市の予算の15%を文化予算に！
- 1995年 ナント市文化局長 ジャン＝ルイ・ボナン 登用
- 2003年 「フランスで最も住みやすい都市」第1位(ル・モンド紙)
フランスの自治体経営総合順位は10大都市で1位

「この町の独創性、アイデンティティは何であるか、そういったものを求めて旅行者はやって来ます。是非、アーティストにどういったところで展示や公演をやりたいか聞いてみて下さい。彼らが求めているのは、ここでしか実現できない企画が行えるか、ということなのです」



別府で行われた国際シンポジウムより(2007)
ジャン＝ルイ・ボナン (フランス、前ナント市文化行政顧問)



イメージが良くなった街に、企業や学校が移転してきた。
現在は、約5万人の学生が学んでおり（人口約28万人）、
若者が人口に占める割合が大きく活気に溢れている。

ヨーロッパでの地方活性化の成功例に共通する特徴として、
最初に地元の文化や環境を再生させ、
「人が来たい、住みたいと思う地域作り」を行っている。

今後の文化行政について考える

アートが生み出す今までに見たことがない風景＝感覚的な価値による発信



直島(香川県)

- ・観光客がほぼいなかった島に、現在年間数十万人が訪れている。
- ・インバウンド四国エリア伸び率1位の宿
＝直島ふるさと海の家 つつじ荘
楽天トラベル「訪日外国人旅行トレンドを発表」
- ・米国の有名な観光ガイドブック「Traveler」の特集、
「死ぬまでに行きたい場所」にパリやドバイと共に掲載
米国 Conde Nast 社「Traveler」誌 2000年3月号



ロンドンオリンピック文化プログラム「カルチュラル・オリンピアド」 テーマは「ONCE IN A LIFETIME」

ONE EXTRAORDINARY DAY



ロンドン2012フェスティバルでは、大がかりで実験的な企画が、思いもよらない場所で、誰もが参加できるよう無料で行われた。

PICCADILLY CIRCUS CIRCUS



ロンドンで最も交通量の多いピカデリーサーカスを舞台に芸術的なサーカス・パフォーマンスを行った。ロンドンは1945年以来という道路閉鎖を行ったという。

ここはこういう街だという
固定観念を壊すような、
圧倒的なスケールや
今まで見たことがないほどの
インパクトの強いアートを展開。
SNSなどで世界中に拡散させる。

魅力発信

都市環境が創造的な人を引きつけ、新しい産業を作る

提唱者：リチャード・フロリダ^(米)

「The Rise of the Creative Class」(2002)
井口典夫訳『クリエイティブ資本論——新たな経済階級の台頭』ダイヤモンド社

誰が？：創造的人材＝クリエイティブ・
クラスの比率の高い都市が発展。
人がいるところへ仕事が進み、
文化・政治・経済を発展させる



「考えてみてください。どんな種類の環境が新しい革新とベンチャー企業とハイテク産業を刺激しますか？ 超高層ビル地区の中の高層オフィスビルあるいはタワーマンションで、この種の創造的破壊が生じている例をあなたは挙げる事ができますか？」

リチャード・フロリダ (アメリカ、社会学者)

米国の経済力を生んだ要因

新しいアイデアや移民を受入れる寛容性＝トレランス

シリコンアレー

創造的な人たちに快適な社会環境があるため人材＝タレントが集積

米国が独占していたグローバルな人材プール

シリコンバレー＝テクノロジーの拠点

今日のグローバル経済

国単位だけでなく、都市や地域の単位で人材獲得競争が進む

創造産業(クリエイティブ・インダストリー)について

クリエイティビティ＝これまでとは異なる視点によって、新たな産業を創出

アート＝クリエイティビティではない。
クリエイティビティとは、これまでにはなかったものを創り出していく力であり、異なる視点で新しい考え方を生み出していく力。つまり、すべての営みや課題の解決に不可欠な力であり、地方創生、特に経済活動においてクリエイティビティによる新たな産業の創出が求められる。

「イノベーションに関する経済成長論や知識資本主義理論はすべて、テクノロジーが経済発展を促し、地域開発をもたらす、企業のパフォーマンスを向上させるとしている。だが、現実とは違う。たとえば私の地元、ピッツバーグは見渡す限りテクノロジーだらけの都市だ。大学も多く、教授1人当りの研究補助金額や研究開発の生産性はケンブリッジやシリコンバレーを上回るくらいだ。ところが、そのテクノロジーが経済成長をもたらさなかった。」

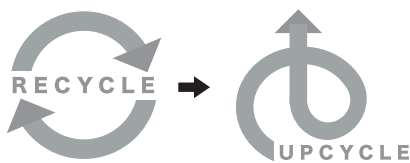
私は、これまでの知識資本主義理論は正しくない気がした。では、何か間違っているのか。私が行き着いたのは、テクノロジーとは『クリエイティビティ』というもっと大きな人間活動の単なるサブセットではないかということだ。

イノベーションとは技術的なクリエイティビティのことであり、起業家精神とは経済的なクリエイティビティのことだ。ほかに、芸術的、文化的、政治的なクリエイティビティがある。大きな経済発展を成し遂げた場所は、すべての面でクリエイティビティを備えたところなのだ。私はこうしたクリエイティビティをもたらす創造的階級の集積こそが大仕事だと考えている」

リチャード・フロリダ・技術中心主義は地域経済を救えない 「LOOP」2003年10月発行

クリエイティビティを活かした産業の事例 「フライターグ」(本社：スイス・チューリッヒ)

ポイント

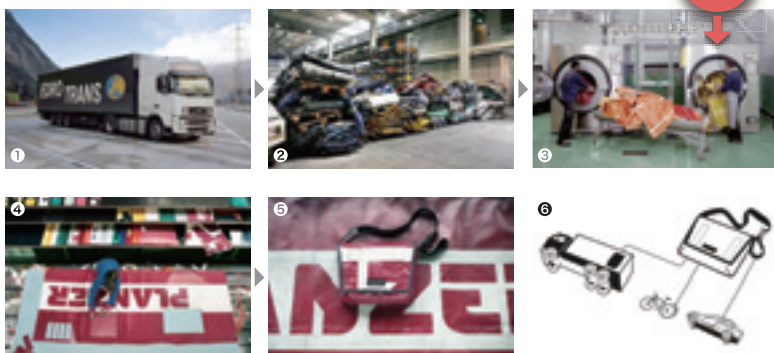


リサイクル＝再循環

単なる素材の原料化、その再利用を指す

アップサイクル＝持続可能

元の製品よりも次元・価値の高いモノを生み出すことを、最終的な目的とする。一般ユーザーにも目に見えるかたちでの「デザイン」が重要な役割を果たす

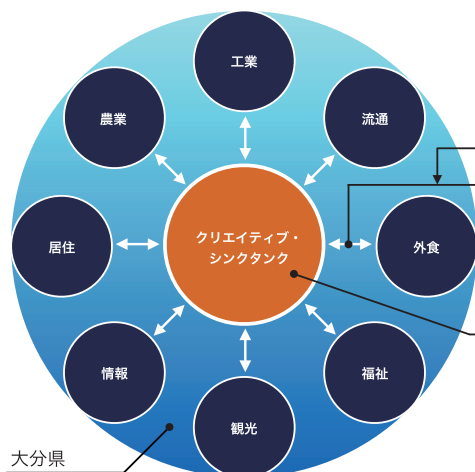


今後の経済政策について考える

今後の経済政策のあり方について

高付加価値型商品の造成や新規市場の開拓を目指し、大分県版クリエイティブ産業を創出。その拠点は大分市中心市街地に開設

【大分県版クリエイティブ産業 イメージ】



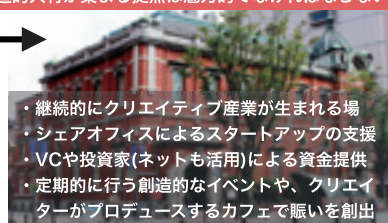
行政からの支援(地方創生事業として実施)

【支援】クリエイティブ産業創出
既存の商品やサービスに、クリエイティブ性を掛け合わせ、新たな産業を創出するためにクリエイティブ・シンクタンクがプロデュースを行う

【組織】クリエイティブ・シンクタンク
県内各企業が抱える課題の解決や新規市場の開拓をクリエイティブの力で推進するシンクタンク。常勤の総合プロデューサーが内容によって外部の専門家を選定、その者が各事業に携わる

創造的人材が集まる拠点は魅力的でなければならない

継続には拠点が必須



例：NOSIGNERが考案・デザインし、仙台の企業と共同開発した防災セット「THE SECOND AID」防災セットというと、置いておくにはどうも…、非常時に見当たらない…というものが多いが、インテリアの一部として置きたい、特別な製品となった。税込8,424円。各国のデザイン賞を多数受賞

今後の経済政策のあり方について

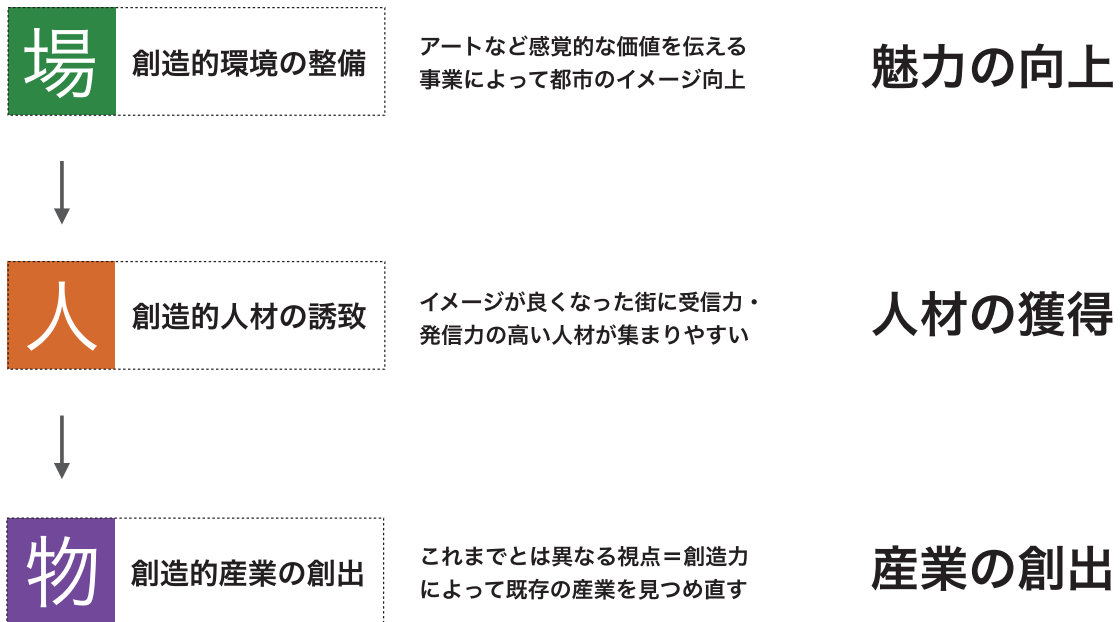


<http://creativeoita.jp>

今後の経済政策のあり方について



2016年9月29日 大分県立美術館でのクリエイティブ・プラットフォーム・カフェ Vol.1



山出淳也
Jun'ya Yamaide

1970年大分生まれ

NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト

アーカスプログラムによるレジデンス（茨城県、1996-7）
アジアン・カルチュラル・センターおよびロックフェラー財団の招聘を受けNY、PS1でのインターナショナルスタジオプログラムに参加（2000-1）
ポーラ美術振興財団の助成による欧州滞在（2002）
文化庁在外研修員としてパリに滞在（2002-2004）

帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。

別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」 総合プロデューサー（2009、2012、2015）
国東半島芸術祭 総合ディレクター（2014）
おおいとイレンナール ディレクター（2015）
国民文化祭おおいと2018 アドバイザー
文化庁 審議会 文化政策部会 委員（14期～）

平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞（芸術振興部門）

アーティストとして参加した主な展覧会として「台北ビエンナーレ - THE SKY IS THE LIMIT」台北市立美術館（2000-1）、
「my home is yours, your home is mine」ロダンギャラリー、ソウル（2000-1）、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館（2000-1）、
「Strangers」PS1、NY（2001）、「PROJECT No.26」メキシコシティ（2001）、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ（2002）、
「PROJECT No.20」John Michael Kohler Arts Center、アメリカ（2004）、「Weird walls」オランダ（2005）など多数。

全国大会新聞掲載記事

建設通信新聞 (20161024)

建設通信新聞 (10月24日号) 掲載記事

発災時こそ活動



士会連合会・全国大会

建設通信新聞は、2016年10月24日号に掲載された「発災時こそ活動」と題した記事のスクリーンショットを示している。記事には、建設業の防災活動に関する内容が記載されている。写真には、士会連合会全国大会で発言している二人の男性が写っている。

建設通信新聞 (10月24日号) 掲載記事

伝統木造住宅に配慮

省エネ法 地域特性を評価

国土交通省は、省エネ法(省エネルギー法)の改正案(案)を24日公表した。省エネ法は、建築物のエネルギー消費効率を向上させることを目的として制定された。改正案では、省エネ法の適用範囲を拡大し、建築物のエネルギー消費効率を向上させるための措置を講ずることとなる。また、省エネ法の適用範囲を拡大し、建築物のエネルギー消費効率を向上させるための措置を講ずることとなる。

日刊建設産業新聞 (20161024)

日刊建設産業新聞 (10月24日号) 掲載記事

建築物省エネ法で勉強会

伝統的木造住宅に配慮訴え

士会連合会

建設業の省エネ活動に関する勉強会が開催された。この勉強会では、省エネ法の改正案について議論が行われ、伝統的木造住宅への配慮が求められた。また、省エネ法の改正案について議論が行われ、伝統的木造住宅への配慮が求められた。

日刊建設工業新聞 20161024

日刊建設工業新聞 (10月24日号) 掲載記事

省エネ指針づくりで行政支援へ

関東申信越ブロックが勉強会設置

三井所士会連合会会長が表明

建設業の省エネ活動に関する勉強会が開催された。この勉強会では、省エネ法の改正案について議論が行われ、伝統的木造住宅への配慮が求められた。また、省エネ法の改正案について議論が行われ、伝統的木造住宅への配慮が求められた。

協賛団体・事業者・個人の方々のご紹介



(一社)大分県建築士事務所協会

会 長	仲摩 和雄	東九州設計工務(株)一級建築士事務所
副 会 長	井上 彰	DAN一級建築士事務所
副 会 長	河村 晃文	(有)佐藤建築設計事務所一級建築士事務所
副 会 長	後藤 康仁	一級建築士事務所(株)後藤建築設計事務所
常務理事	利根 三喜生	(株)利根建設一級建築士事務所
常務理事	河野 浩二	K2構造設計(株)一級建築士事務所
理 事	大海 治憲	(株)菅組一級建築士事務所/糸永 政憲 糸永一級建築士事務所
	木下 義徳	木下一級建築士事務所/高 彰宏 (株)高建築一級建築士事務所
	赤嶺 竜一	T's architect 竜一設計工房/岡部 良信 岡部一級建築設計
	橋爪 雅幸	(有)橋爪一級建築士事務所/穴井 和興 和興設計一級建築士事務所
	野村 晋二	野村一級建築設計事務所/小野 公博 公設計一級建築士事務所
監 事	御手洗 正信	(有)御手洗設計一級建築士事務所/喜多嶋 茂 自由設計倶楽部一級建築士事務所

会 員 【高田】(株)キョウワ一級建築士事務所/(株)菅組一級建築士事務所【国東】糸永一級建築士事務所/ウエノ一級建築士事務所/古庄設計一級建築士事務所/重末一級建築士事務所/(株)野田産業一級建築士事務所【別府】アーキ未来設計企業組合/大平設計一級建築士事務所/木下一級建築士事務所/(株)クラウド/(有)この設計一級建築士事務所/(有)しげる設計一級建築士事務所/(株)浦松建設一級建築士事務所/(株)大谷建築設計工務二級建築士事務所/(株)幸建設一級建築士事務所【大分】(有)アートライズ/(株)あい設計大分支社/(株)青木茂建築工房一級建築士事務所/As・unit一級建築士事務所/アトリエ四季/アトリエテイク/安藤一級建築士事務所/(株)飯田建築設計事務所一級建築士事務所/池永住研/一級建築士事務所(有)石井建築研究所/(有)岩田設計事務所一級建築士事務所/(有)エイチエム建築企画室一級建築士事務所/エス・プラン/一級建築士事務所(株)大分住宅研究室/(株)桑野設計/一級建築士事務所(有)ケイシン設計/K2構造設計(株)一級建築士事務所/(株)後藤泰幸建築工房一級建築士事務所/(有)佐藤建築設計事務所一級建築士事務所/スタール設計/(株)大有設計/(株)大洋設計一級建築士事務所/(株)高建築一級建築士事務所/(有)テツ建築事務所一級建築士事務所/(有)トーク建築設計工房一級建築士事務所/一級建築士事務所富高建築設計事務所/トラスト設計一級建築士事務所/一級建築士事務所中野建築コンサルタント/長野設計一級建築士事務所/丹舎設計一級建築士事務所/二宮設計/東九州設計工務(株)一級建築士事務所/平田設計事務所/(有)豊和建築設計事務所一級建築士事務所/(株)松井設計一級建築士事務所/(株)矢野設備設計一級建築士事務所/(株)アイビッカー一級建築士事務所/(株)朝来野工務店一級建築士事務所/梅林建設(株)一級建築士事務所/AES設計/大分県労働者総合生活協同組合一級建築士事務所/(株)角田建設一級建築士事務所/(有)梶原住研一級建築士事務所/(株)共同システム設計/クボタ不動産建設(株)一級建築士事務所/(株)熊野建設一級建築士事務所/後藤建設(株)一級建築士事務所/(株)佐伯建設一級建築士事務所/(有)櫻木建設一級建築士事務所/(株)三愛一級建築士事務所/(株)三邦二級建築士事務所/JA全農九州一級建築士事務所大分管理センター/柴田建設(株)一級建築士事務所/新成建設(株)一級建築士事務所/(株)住研/(株)ジェイテック一級建築士事務所/大和ハウス工業(株)大分支店一級建築士事務所/大和リース(株)大分支店一級建築士事務所/(株)竹内工務店一級建築士事務所/(有)近広建設/堤建設工業(株)一級建築士事務所/東和宏業建設(有)一級建築士事務所/(株)利根建設一級建築士事務所/ナカノス建設工業(株)一級建築士事務所/日成ビルド工業(株)建築設計事務所大分支店/日本ハウジング建築設計事務所/ノダホーム(株)一級建築士事務所/(株)パナホーム大分一級建築士事務所/平倉建設(株)一級建築士事務所/(株)ベツダイ一級建築士事務所/豊國建設(株)一級建築士事務所/法友建設(株)一級建築士事務所/マンションスタイルクリエイト二級建築士事務所/(有)芝設計一級建築士事務所/(株)高橋設計一級建築士事務所/(株)ライフ設計一級建築士事務所/T's architect竜一設計工房/(有)遠藤建材社二級建築士事務所/(株)樹のこころ舎/小代築炉工業(株)一級建築士事務所/(株)セキ土建一級建築士事務所【佐伯】岡部一級建築設計/志賀建築設計事務所/(有)橋迫建築設計事務所/(有)御手洗設計一級建築士事務所/(株)風戸工務店一級建築士事務所/谷川建設工業(株)一級建築士事務所【三重】アートオブライフ一級建築士事務所/(有)川邊T O Y O建築設計室/一級建築士事務所(株)後藤建築設計事務所/高野建設一級建築士事務所【竹田】(有)橋爪一級建築士事務所/(有)川野組一級建築士事務所/(株)友岡建設一級建築士事務所/(株)松井組一級建築士事務所【玖珠】矢野設計工房一級建築士事務所/和興設計一級建築士事務所【日田】(株)イーエイチ設計一級建築士事務所/(有)仁田野建築設計事務所一級建築士事務所/野村一級建築設計事務所/(株)江藤工務店一級建築士事務所/(株)川浪組一級建築士事務所/(株)平成建設一級建築士事務所【中津】(有)ウトウ設計一級建築士事務所/(有)梶田設計一級建築士事務所/是本一級建築士事務所/自由設計倶楽部一級建築士事務所/(有)瀬口建築設計事務所/DAN一級建築士事務所/(有)ツジハラ設計工房一級建築士事務所/一級建築士事務所H I R O建築設計工房/(株)松山設計/(有)やまむら一級建築士事務所/裕建築設計室一級建築士事務所/(株)富部建設一級建築士事務所【宇佐】建築企画BIGBANG一級建築士事務所/公設計一級建築士事務所/(株)さとう不動産設計事務所一級建築士事務所/身深一級建築士事務所/(有)宮川設計工房/(株)岩田木材店二級建築士事務所/(株)江河工務店一級建築士事務所/(株)奥田組一級建築士事務所/森田建設一級建築士事務所/(有)唯工房一級建築士事務所/

一般財団法人



大分県建築住宅センター



わたしたちは、建築住宅関係の制度を通じて、
安全・安心な住環境の実現を目指します。

○建築・住宅に関する各種手続きを、ワンストップで処理します。

○丁寧で、スピーディーな処理に努めます。

○構造計算適合性判定業務を始めました。（H28、6月～）

○住宅のBELS認証を始めました。（H28、4月～）

取り扱う業務

- ・建築物の確認、検査
- ・住宅性能評価
- ・住宅瑕疵担保責任保険
- ・住宅金融支援機構の適合証明等
- ・長期優良住宅の技術審査
- ・低炭素住宅の技術審査
- ・構造計算適合性判定
- ・すまい給付金関連業務
- ・BELS認証
- ・その他

本 所

〒870-0003 大分市生石二丁目1番30号
TEL 097-537-0300 / FAX 097-537-0395

佐伯出張所

〒876-0813 佐伯市長島町2丁目1-1千栄ビル2階
TEL / FAX 0972-28-5535

日田出張所

〒877-0025 日田市田島2-4-1オフィスサカエ1F
TEL 0973-28-5212 / FAX 0973-28-5215

中津出張所

〒871-0024 中津市中央町1-5-24 (株)中津建築会館2F
TEL 0979-53-9720 / FAX 0979-53-9721

一般社団法人 大分県建設業協会

〒870-0046

大分県大分市荷揚町4-28

TEL:097-536-4800 FAX:097-534-5828

MAIL:info@oitakenkyo.or.jp

高度な技術と 確かな品質で
社会に貢献します。

協同組合大分県鉄構工業会

理事長 神崎 隆一
副理事長 足立 高浩
副理事長 清松 芳夫

〒870-0268

大分県大分市政所二丁目3番9号

TEL:097-593-5008

FAX:097-593-5106

建築士を目指されている皆さん

合格率※1と 合格占有率※2

受験予備校を選ぶなら、どちらを重視しますか？

※1 合格率…受講生のうち、どれくらい合格されたのか？

※2 合格占有率…合格者全体のうち、受講生合格者がどれくらい占めたのか？

日建学院の「合格率」へのこだわりを
ご自身でお確かめ下さい。

体験入学や
資料請求は
お気軽にどうぞ！

日建学院コールセンター
0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

一般社団法人 大分県宅地建物取引業協会
会長 伊本 憲清

〒870-0025 大分市顕徳町 丁目4-15

大分県不動産会館1階

TEL:097-536-3758 FAX:097-533-0105

公益社団法人 全日本不動産協会大分県本部
本部長 石田 宣明

〒870-0028 大分市新町19番1号

全日会館

TEL:097-534-3839 FAX:097-532-6765

公益社団法人 日本建築家協会九州支部大分地域会
会長 小島 哲夫

(事務局) 〒870-1135 大分市光吉新町6-2

慧設計一級建築士事務所 内

TEL:097-567-7321 FAX:097-567-3565

一般社団法人 日本建築構造技術者協会大分地区会
幹事 阿部 知光

(事務局) 〒870-0822 大分市大道町6丁目3組

K2構造設計株式会社一級建築士事務所 内

TEL:097-545-1835 FAX:097-545-1835

大分県管工事協同組合連合会
会長 小野 泰男

〒870-0906 大分市大州浜1丁目3番5号

TEL:097-551-1637 FAX:097-556-9681

大分県電気工事業工業組合
理事長 松木 年廣

〒870-0943 大分市大字片島440番地の2

TEL:097-568-2146 FAX:097-568-2147

〔高田地区〕

株式会社 日興製作所
代表取締役 小畑 雄嗣
〒879-0640 豊後高田市美和2473番地6
TEL:0978-22-3300 FAX:0978-22-3471

西日本ホーム株式会社
代表取締役社長 高倉 健一
〒879-0627 豊後高田市新地1719番地2
TEL:0978-23-1414 FAX:0978-23-1415

株式会社 中村建材店
代表取締役社長 中村 慎一郎
〒879-0617 豊後高田市高田2145番地1
TEL:0978-22-2307 FAX:0978-24-0571

大和スレート株式会社 北九州出張所
所長 野村 明弘
〒802-0985
北九州市小倉南区大字志井字笹原931-2
TEL:093-452-0870 FAX:093-452-0872

中之島鉄工株式会社
代表取締役 大鍛 治 昭一
〒879-0605 豊後高田市御玉8番地2
TEL:0978-24-0222 FAX:0978-24-1618

株式会社 北大アルミ
代表取締役 野田 泰実
〒879-0611 豊後高田市森602番地
TEL:0978-23-0133 FAX:0978-23-0131

有限会社 中村商店
代表取締役社長 近藤 秀人
〒879-0628 豊後高田市新町2025-4
TEL:0978-22-3140 FAX:0978-22-3143

西日本土木株式会社
代表取締役社長 隈田 英樹
〒879-0627 豊後高田市新地1071番地
TEL:0978-22-1131 FAX:0978-22-3429

〔国東地区〕

株式会社 スマート建築
代表者 鶴田 繁
〒873-0502 国東市国東町田深1021-4
TEL:0978-72-3613 FAX:0978-72-1206

重末一級建築士事務所
所長 重末 萬隆
〒873-0533 国東市国東町見地1382
TEL:0978-76-0337 FAX:0978-76-0337

株式会社 建築佐藤
代表者 佐藤 忠士
〒873-0524 国東市国東町横手8213
TEL:0978-72-4053 FAX:0978-72-4053

糸永一級建築士事務所
所長 糸永 政憲
〒873-0006 杵築市大内3252-1
TEL:0978-63-0010 FAX:0978-63-4306

ウエノ一級建築士事務所
所長 上野 貢一
〒873-0643 国東市国東町富来浦2110-2
TEL:0978-74-0359 FAX:0978-74-0359

株式会社 野田産業
代表者 野田 忠博
〒873-0221 国東市安岐町塩屋291-3
TEL:0978-67-1335 FAX:0978-67-1336

有限会社 江本組
代表者 江本 安志
〒872-1401 国東市国見町伊美2707-1
TEL:0978-82-0011 FAX:0978-82-0471

〔別府地区〕

株式会社 安部勇建設
代表取締役 安部 勇
〒874-0845 別府市鶴見287番地の2
TEL:0977-66-6920 FAX:0977-21-8899

朝倉造園
代表 朝倉 孝司
〒874-0840 別府市鶴見8-1
TEL:0977-22-4843 FAX:0977-26-0699

株式会社 三信建材社
代表取締役 大家 覚
〒879-0457 中津市東浜1105番地1
TEL:0979-22-2830 FAX:0979-23-3830

鶴栄木材 株式会社
代表取締役社長 内田 憲吾
〒870-0272 大分市迫777番地の2
TEL:097-521-1593 FAX:097-521-1594

有限会社 河野左官工業
代表取締役 河野 靖男
〒870-0883 大分市永興6組の2
TEL:097-543-5788 FAX:097-543-5767

光綜合工業 株式会社
代表取締役 大附 嘉孝
〒874-0919 別府市石垣東8-1-13
TEL:0977-24-0287 FAX:0977-25-0540

協栄工業 株式会社
代表取締役 佐藤 総一
〒870-0951 大分市下郡字千鳥3225-23
TEL:097-569-5800 FAX:097-569-5837

株式会社 藤良建設
代表取締役 後藤 良規
〒874-0840 別府市大字南立石368番地の1
TEL:0977-25-7168 FAX:0977-23-5069

株式会社 トミオ大分
代表取締役 佐藤 裕俊
〒874-0016 別府市野田552番地の3
TEL:0977-67-8797 FAX:0977-66-6141

有限会社 佐藤たたみ工房
代表取締役 佐藤 豊三
〒874-0848 別府市大畑3組
TEL:0977-25-1717 FAX:0977-25-1718

株式会社 クリーン・アップ
代表取締役 下郡 謙悟
〒874-0835 別府市実相寺1-6
TEL:0977-25-4855 FAX:0977-25-5030

有限会社 エヌ・エス・オー
代表取締役 塩田 清一
〒870-0108 大分市大字三佐2421-7
TEL:097-523-5525 FAX:097-523-5233

株式会社 美装管理
代表取締役社長 高野 浩子
〒874-0906 別府市天満町16-26
TEL:0977-21-5311 FAX:0977-21-5331

 **一光と風と緑の提案**

株式会社 幸建設
代表取締役 幸 勝美
〒874-0919 別府市石垣東1丁目9番31号
TEL:0977-23-6231 FAX:0977-24-7026

有限会社 中山建材店
代表取締役 中山 浩志
〒870-0904 大分市向原東2丁目1番28号
TEL:097-558-8888 FAX:097-551-6744

株式会社 平野工務店
代表取締役 平野 英壽
〒874-0919 別府市石垣東8-2-17
TEL:0977-21-0766 FAX:0977-21-4812

株式会社 カナック
代表取締役 村岡 定昇
〒874-0910 別府市石垣西10丁目4番21号
TEL:0977-25-2448 FAX:0977-25-2496

株式会社 唱和電工
代表取締役 福田 幸功
〒874-0836 別府市東荘園町6-1
TEL:0977-21-2622 FAX:0977-21-2999

有限会社 S・T・S・中山
代表取締役 中山 一郎
〒879-5531 由布市狭間町谷字鷺倉614-1
TEL:097-583-2200 FAX:097-583-2200

株式会社 SKY電設
代表取締役 八坂 憲一
〒874-0933 別府市野口元町12-35
TEL:0977-24-4337 FAX:0977-24-4336

株式会社 メイソン
代表取締役 名村 啓三
〒870-0918 大分市日吉町13番19号
TEL:097-556-9911 FAX:097-556-9355

有限会社 ビーエムハラダ
代表取締役 吉成 竜次
〒870-0274 大分市種具632番地
TEL:097-524-9333 FAX:097-524-9335

〔大分地区〕

平倉建設 株式会社
代表取締役社長 平倉 啓貴
〒870-0049 大分市中島中央3丁目1番11号
TEL:097-534-4480 FAX:097-532-0823

梅林建設 株式会社
代表取締役社長 梅林 秀伍
〒870-0044 大分市舞鶴町1丁目3番18号
TEL:097-534-4151 FAX:097-536-4151

豊國建設 株式会社
代表取締役社長 池邊 太
〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番28号
TEL:097-536-1285 FAX:097-534-3905

株式会社 熊野建設
代表取締役社長 佐藤 俊治
〒870-0822 大分市大道町5丁目4番14号
TEL:097-545-5480 FAX:097-543-7928

株式会社 佐伯建設
代表取締役社長 川崎 栄一
〒870-8611 大分市中島西三丁目5番1号
TEL:097-536-1530 FAX:097-532-8844



東九州設計工務株式会社
HIGASHIKYUSHU Architectural & Engineering, Inc.

代表取締役 仲摩 和雄
〒870-0907 大分市大津町1丁目2番21号
TEL:097-558-0024 FAX:097-558-6678

新成建設 株式会社
代表取締役 藤田 三吉
本社：〒870-0854 大分市羽屋279番地1
TEL:097-545-7878 FAX:097-545-3955
玖珠支社：〒879-4632 玖珠郡九重町大字松木147番地の1
TEL:0973-72-4151

株式会社 平和建設
代表取締役社長 藤田 哲司
〒870-0304 大分市大字久原796番地の1
TEL:097-592-2106 FAX:097-592-2671

新日鐵住金株式会社 大分製鐵所
所長 新田 博之
〒870-0992 大分市大字西ノ洲1番地
TEL:097-553-2013 FAX:097-553-2288

株式会社 飯田建築設計事務所
代表取締役 飯田 郁夫
〒870-0933 大分市花津留1丁目4番30号
TEL:097-555-9045 FAX:097-552-1945

日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社
大分建設センター
〒870-0905 大分市向原西1-1-36
TEL:097-558-2825 FAX:097-558-2819

有限会社 アヴニール設計
代表取締役 伊藤 禎
〒870-0938 大分市今津留1丁目10番5号
TEL:097-556-6780 FAX:097-556-4546

株式会社 風 雅
代表取締役社長 姫野 英二郎
〒870-0943 大分市片島551-4
TEL:097-574-5351 FAX:097-574-5352

日本E R I 株式会社 大分支店
〒870-0026 大分市金池町2-1-16
損保ジャパン日本興亜大分駅前ビル8F
TEL:097-513-6311 FAX:097-513-6333

有限会社 石井建築研究所
代表取締役 石井 鏡成

野内硝子 株式会社
代表取締役 野内 健二
〒870-0018 大分市豊海3丁目6番3号
TEL:097-534-2040 FAX:097-534-2051

〒870-0029
大分市高砂町4番20号 高砂ビル505
TEL:097-535-1871 FAX:097-535-1879

有限会社 大分樹脂防水
代表取締役 林 昇一
〒870-0822 大分市大字三芳411-7
TEL:097-543-9406 FAX:097-543-9471

柳井電機工業 株式会社
代表取締役社長 柳井 智雄
〒870-0017 大分市弁天二丁目7番1号
TEL:097-537-5385 FAX:097-534-2781

株式会社 松村硝子店
代表取締役社長 松村 幸司
〒870-0018 大分市豊海5丁目4番16号
TEL:097-532-7111 FAX:097-532-7118

日本暖房鉄工 株式会社
代表取締役 但馬 建
〒870-0921 大分市萩原2丁目4番1号
TEL:097-551-1711 FAX:097-558-9334

建設系資格指導のエキスパート

 **総合資格学院**

建築士	建築設備士	構造設計1級建築士	建築・土木・管工事施工管理技士
宅建士	設備設計1級建築士	インテリアコーディネーター	

講座説明会 **無料** 講座体験入学 実施中

大分校 〒870-0035
大分県大分市中央町
1-4-2 TIC大分ビル 5F

資料請求等・お気軽にご相談ください! TEL:097-540-6281

各講座の詳細・各種イベントやプレゼントなど盛り沢山!!
www.shikaku.co.jp 総合資格 検索

株式会社 消防防災
代表取締役 成良 仁志
〒870-0023 大分市長浜町2丁目2番32号
TEL:097-536-5382 FAX:097-532-0254

株式会社 三高産業
代表取締役 高見 裕司
〒870-0951 大分市大字下郡1161番地
TEL:097-568-6632 FAX:097-568-6410

株式会社 サンテック九州
代表取締役 吉田 浩市
〒870-0912 大分市原新町8番30号
TEL:097-551-0186 FAX:097-551-0173

博陽工業 株式会社
代表取締役社長 角 毅 四郎
〒870-0125 大分市大字松岡字野間4283
TEL:097-520-1511 FAX:097-520-2248

有限会社 丸田木工所
代表取締役 丸田 啓三
〒870-0856 大分市大字畑中7-3-1
TEL:097-544-4450 FAX:097-544-4460

株式会社 大分地研
代表取締役 渡邊 芳昭
〒870-0905 大分市向原西1丁目7番6号
TEL:097-504-3557 FAX:097-504-3565

株式会社 栄工社
代表取締役 仲摩 和雄
〒870-0045 大分市城崎町2丁目4番39号
TEL:097-534-3711 FAX:097-538-3092

株式会社 古城
代表取締役 古 城 一
〒870-0023 大分市長浜町1丁目2番1号
TEL:097-533-1196 FAX:097-536-3266

大分ゼロックス 株式会社
代表取締役社長 今川 茂治
〒870-0921 大分市萩原4-9-56
TEL:097-556-7112 FAX:097-556-7461

〔佐賀関地区〕

株式会社 セキ土建
代表取締役 嵯峨 雄二
〒879-2201 大分市大字佐賀関4の3341番地の4
TEL:097-575-1120 FAX:097-575-0522

高島建設 株式会社
取締役会長 上野 輝芳
代表取締役 渡邊 忠孝
〒879-2201 大分市大字佐賀関3068番地
TEL:097-575-0116 FAX:097-575-0225

伊藤工務店
代 表 伊藤 浩志
〒870-0306 大分市東上野21-9
TEL・FAX:097-593-0930

株式会社 ライフテック・井上
代表取締役 井上 雅順
〒879-2203 大分市大字一尺屋3013番地
TEL:097-575-8226 FAX:097-575-8513

有限会社 渡邊木工所
代表取締役社長 渡邊 裕一
〒879-2201 大分市大字佐賀関2232-78
TEL:097-575-0370 FAX:097-575-0324

株式会社 ダイドー金物
代表取締役社長 西森 幸一
〒870-0142 大分市三川下1丁目2番21号
TEL:097-558-6774 FAX:097-558-6778

株式会社 高橋工業
代表取締役 高橋 秀則
〒870-0141 大分市三川新町1-1-15
TEL:097-594-0118 FAX:097-594-1148

小林工業 有限会社
代表取締役 小林 安則
〒870-0325 大分市久原中央1丁目1番33号
TEL:097-592-2693 FAX:097-594-1500

大分サンダイン 株式会社
代表取締役 伊 東 聡
〒870-0127 大分市大字森町20番地の2
TEL:097-521-7327 FAX:097-521-7329

〔臼杵地区〕

現代建設 株式会社
代表取締役 板井 登喜雄
〒875-0052 臼杵市大字市浜字京泊り704番地の4
TEL:0972-62-3363 FAX:0972-62-3365

旭産業 株式会社
代表取締役社長 田中 章夫
〒875-0052 臼杵市大字市浜1137-1
TEL:0972-63-2123 FAX:0972-63-3125

有限会社 みえのブロック
代表取締役 三重野 元良
〒875-0082 臼杵市大字稲田中尾下1000番地の1
TEL:0972-63-6695 FAX:0972-62-5138

株式会社 E E 設計
代表取締役 森竹 功象
〒870-0021 大分市府内町1丁目6番40号
TEL:097-534-3000 FAX:097-534-3131

株式会社 ライフ設計一級建築士事務所
取締役所長 藤澤 正治
〒875-0052 臼杵市千代田区3組の2
TEL:0972-63-7552 FAX:0972-63-7589

有限会社 ヒメーン山園
代表取締役 木村 健一郎
〒875-0052 臼杵市大字市浜千代田区3組
TEL:0973-63-1655 FAX:0972-63-1650

有限会社 二村鋳金 workshop
代表取締役 二村 貴
〒875-0011 臼杵市大字諏訪642の3
TEL:0972-63-0505 FAX:0972-63-6217

T's architect 竜一設計工房
赤嶺 竜一
〒875-0062 臼杵市野田2413-3
TEL:0972-62-9334 FAX:0972-62-9334

株式会社 高橋設計
代表取締役 高橋 利治
〒875-0023 臼杵市大字江無田131番地1
TEL:0972-62-4213 FAX:0972-62-4708

〔津久見地区〕

三 和 株式会社
代表取締役社長 古手川 哲
〒870-0278 大分市青崎1丁目2番36号 三和ビル3F
TEL:097-523-2353 FAX:097-527-2100

〔佐伯地区〕

公益社団法人 大分県建築士会佐伯支部
・ 佐伯支部正会員、準会員
・ 佐伯支部運営協賛会員
〒876-0833 佐伯市池船町19-14
TEL・FAX:0972-22-5008

〔豊後大野地区〕

有限会社 犬飼工務店
代表取締役 渡辺 和美
〒879-7302 豊後大野市犬飼町久原347-12
TEL・FAX:097-578-0469

有限会社 宮成工務店
代表取締役 宮成 孝治
〒879-7305 豊後大野市犬飼町田原2984番地2
TEL:0974-37-2216 FAX:0974-37-2148

株式会社九電工 豊後大野営業所
〒879-7152 豊後大野市三重町百枝1086
TEL:0974-22-3245 FAX:0974-22-3359

有限会社 工藤興産
代表取締役 工藤 光彦
〒879-7141 豊後大野市三重町秋葉1351
TEL:0974-22-8025 FAX:0974-22-8026

恵藤建設 株式会社
代表取締役 恵藤 誠
〒879-7404 豊後大野市千歳町長峰1590
TEL:0974-37-2135 FAX:0974-37-2137

丹生ガラス店
代表取締役 丹生 国裕
〒879-7111 豊後大野市三重町下赤嶺1979
TEL:0974-22-1756 FAX:0974-22-4865

一級建築士事務所even
所長 坂本 肇
〒879-7111 豊後大野市三重町赤嶺1226-4
TEL:0974-22-8033 FAX:0974-22-0111

〔玖珠地区〕

株式会社 久大電設
代表取締役 穴井 道博
〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇476番地
TEL:0973-72-5959 FAX:0973-72-5171

有限会社 イーベル
代表取締役 中村 綾人
〒879-4412 玖珠郡玖珠町大字山田187番地の1
TEL:0973-72-6399 FAX:0973-72-6390

株式会社 日本シャッター産業
代表取締役 吉光 幸夫
本社：〒877-0002 日田市大字北豆田1733番地の24
TEL:0973-22-5066 FAX:0973-22-5398
玖珠営業所：〒879-4412 玖珠郡玖珠町大字山田2536
TEL:0973-72-5496 FAX:0973-72-5471

〔日田地区〕

株式会社 インテリア春
代表取締役社長 財津 崇
〒877-0082 日田市日ノ出町25-8
TEL:0973-24-0566 FAX:0973-24-6351

株式会社 渡辺工務店
代表取締役社長 渡辺 修司
〒877-0025 日田市田島3丁目1733-1
TEL:0973-23-6074 FAX:0973-23-0170

日田市畳工業組合
〒877-0082 日田市日ノ出町192-1
TEL:0973-24-6506 FAX:0973-22-4009

有限会社 高倉スレート工業
代表取締役 高倉 頼利
〒877-1231 日田市財津町2696-1
TEL:0973-24-9825 FAX:0973-24-9325

<p>株式会社 大日電気 代表取締役社長 江藤 小織 〒877-0053 日田市大字高瀬525-1 TEL:0973-22-3111 FAX:0973-23-0100</p>	<p>株式会社 大 日 代表取締役社長 江藤 秀平 〒877-0055 日田市大宮町1248-1 TEL:0973-23-8111 FAX:0973-23-7311</p>
<p>九州電工 株式会社 代表取締役 梶原 征男 〒877-1361 日田市大字有田319-27 TEL:0973-22-3316 FAX:0973-24-5466</p>	<p>株式会社 九電工 日田営業所 〒877-0071 日田市玉川町275-3 TEL:0973-23-4141 FAX:0973-24-7371</p>
<p>河津建設 株式会社 代表取締役社長 河津 龍治 〒877-0030 日田市三芳小淵町151 TEL:0973-23-8173 FAX:0973-22-2299</p>	<p>株式会社 諫山工務所 代表取締役 伊藤 哲司 〒877-0025 日田市田島1丁目10-21 TEL:0973-22-6141 FAX:0973-22-1688</p>
<p>〔中津地区〕</p>	
<p>株式会社 三信建材社 代表取締役 大家 覚 〒879-0457 中津市東浜1105番地1 TEL:0979-22-2830 FAX:0979-23-3830</p>	<p>大分県建設業協会 中津支部 〒871-0013 中津市大字金手33番地4 TEL:0979-22-2085 FAX:0979-22-7331</p>

編集後記

台風8号のため順延した第1回全国大会実行委員会を平成26年7月31日(木)に別府国際コンベンションセンタービーコンプラザの32会議室で正式にスタートしました。

それから約2年余りの間、暗中模索しながら準備作業や会議を重ねました。昭和38年第8回大会以来の53年ぶりの大会でもあり、次の番には多くの会員が経験できるかどうかかわからないであろう、生涯の記憶に残るであろうという気持ちで取り組んできました。

振り返れば災害と建築士との関わりを考えさせられる年でもありました。4月には熊本地震が発生し、8月には台風10号が岩手県等に甚大な被害をもたらし、さらに大会前日21日には鳥取県中部で地震が発生し鳥取県士会員が災害対応で別府からとんぼ返りをしました。特に熊本地震ではその被害の大きさから一時は開催を危ぶむ声もありましたが、むしろ被災地を応援するためにもふんばって開催しようということになりました。おかげさまで、大会は多くの会員と協賛頂いた団体、個人の皆さんのご支援で成功裏に終わることができました。

大会の「誘い」と「報告」は会員雑誌「建築士」の平成28年5月号と平成29年2月号でも掲載していますが、あらためて協賛していただいた方々に御礼を兼ねて大会記念誌を発行しました。両紙と併せて記念に残して頂ければ幸いです。今後とも、公益社団法人大分県建築士会への変わらぬご支援とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月吉日 (穴井)

CONTENTS

【Ⅱ部】建築士おおいた 2017 No118号

公益事業の成果	大分支部	中原 健太郎	81
	別府支部	小山 秀輝	82
	佐伯支部	志賀 智昭	83
	豊後大野支部	岡部 達巳	84
大分みちくさ小道実行委員会		大分みちくさ小道	85
インフォメーション(支部便り)	宇佐支部	椀田 康一	86
	臼杵支部	高橋 利治	88
マイワーク	佐伯支部	小川 稔浩	90
	臼杵支部	野中 幸生	90
	豊後大野支部	佐藤 勤也	91
マイベストブック	玖珠支部	衛藤 銑太	92
	宇佐支部	古市 憲司	92
我が街の建築士紹介	大分支部	丹生 孝太	93
	大分支部	廣瀬 祐樹	93
	大分支部	首藤 顕道	94
	別府支部	幸 康史	94
マーボアの旅先日記	会長	井上 正文	95
事務局だより			96

大分支部 中原 健太郎

【リノベーションまちづくり講座シリーズ 魁!!】

リノベ塾 vol.7～9 の報告

平成27年度に3回実施した、リノベ塾について報告します。

これまでのリノベ塾では、県外からの講師が中心でしたが、第7回からは、大分県内で活躍されている方を中心にお呼びしました。

Vol7 は竹田市のまちなかで活躍されている方々をお呼びしました。イタリアンレストラン「リカド」オーナーの桑島孝彦氏、リカドを設計施工された東野唯史氏、祖父の家をセルフリノベーションした「カフェグランパ」オーナーの西田稔彦氏3名のそれぞれの店舗を創り上げるまでのいきさつなどのお話を聞きました。

トークショーの後の交流会では、桑島さん、西田さんお手製の料理がふるまわれ、みんなでおいしくいただきました。



(写真1) Vol.7 会場風景

Vol.8 は面白い活動をされている公務員の方々をお招きしました。臼杵市役所の祖父江伸矢氏、中津市役所の佐々木洋幸氏、佐伯市役所の後藤好信氏と河野功寛氏の4名には、北九州で行われた「リノベーションスクール」受講者という共通項があります。受講をきっかけに地域活性化のための連携を模索したり、自分たちでまちなかを活性化できるような取り組みを企画したり、空き家を1軒買い、人が集まる住居兼店舗へ

リノベーションを試みたりと活発な事例報告が行われました。



(写真2) Vol.8 会場風景



(写真3) Vol.8 お話いただいたみなさん

Vol.9 は国東市で空き家をリノベーションして、ギャラリーなどに活用している中野伸哉氏と今富正幸氏のお二人を講師としてお招きしました。空き家問題や人口減少が進んでいる国東市の現状もお話いただきました。今回の会場は懐かしの「セントラルシネマ」を貸し切って行いました。久々に足を踏み入れた映画館に対して、参加された皆さんは当時を懐かしんでいるようでした。



(写真4) Vol.9 会場風景

別府支部 小山 秀輝

【折り紙建築教室】

日 時 平成 28 年 11 月 27 日 (日)

午前 9 : 30 ~ 15 : 30

場 所 日出町中央公民館 (体育館)

別府支部青年部の活動として、子どもたちに建築への興味を持ってもらえることを目的とし、毎年折り紙建築教室を開催しております。

今年度の折り紙建築教室は、今回で第 29 回となる「ひじ産業まつり」の企業展示ブース会場の一角をお借りして行いました。



「ひじ産業まつり」は日出町の産業の発展を祈って開催されるお祭りで、日出町産農林水産物の販売や町内企業の PR、ステージイベント、「日出の幸」を使った海鮮汁の無料配布などを行っており、幅広い世代の方々に賑わっており、折り紙建築教室のコーナーにもたくさんの方々が立ち寄っていただきました。

実際に折り紙建築を作ってもらったのは、小学生の低学年から高学年の子どもたちで、最初に簡単なものにチャレンジしてもらい、それに色鉛筆で色を付けたり、絵を描いてもらったりしました。その後、用意した型紙の中から自分たちで好きなものを選んでもらい自由に組みんでもらいました。選んだ

ものの難易度や個人差はありましたが、概ね 30 分程度で作品を作ることができました。また、帰ってから作りたいと、型紙を何枚も持って帰る意欲的な子どもや大人の方もいました。



今回の折り紙建築教室は、あいにくの雨模様にもかかわらず約 40 人の子どもたちが参加し、建築に興味をもってもらえたことと実感しております。また、色使いや型紙の選び方など、子どもたちの個性の豊かさを感じることもでき、充実したものでした。

次回の本まつりにも是非参加させてもらい、その時までには、日出町に現存する建築物の折り紙建築をつくり、より建築を身近に感じ興味を持ってもらえるよう工夫をしていきたいと考えております。

佐伯支部 志賀 智昭

【折紙建築教室】

平成28年9月24日、本匠公民館にて折紙建築教室が開催されました

例年は小学校を対象に活動してきました。継続して来た事が市内にも知れてきたのか、それとも某井上氏の個人的な趣味の活動のお陰なのかは定かではありませんが・・・

昨年度より希望のあった「山っこクラブ」(小学校高学年26名)を対象に出張講座の形式で、北口支部長以下10名で参加して来ました。

「建築士」とは「建築士会」とはどのような人たちなのかを説明した後に、「折紙建築」を通して平面から立体を作り出す楽しさを実践して貰いました。

「刃物が怖いから俺はようせん!!」と最初は消極的な男の子、手を動かしながらもインターネットで調べたクイズを出題して講師を困らせる女の子グループ、これまた見事な個人スキルでそれに対応する士会会員。別のテーブルでは子供たちから尊敬の念をこめて「師匠!!」と呼ばれだす会員も登場していました。非常に個性の強い子供たちを相手に苦労しながらも、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

いつも思うのですが・・・昔と違い刃物を扱う機会が少ないせい、子供達のカッターの使う技術の個人差が大きい事には驚きます。

るみる上達する子供たちの伸び代や集中力を目の当たりにするのは非常に楽しく、初心に帰るような気がします。

今後もこうした活動に積極的に参加する会員が増える事を期待します。



・真剣な作業風景・



・支部長も真剣です・



・講師紹介・

また、慣れるに従って乾いた砂に水が吸うようにみ



・最後に集合写真・

【豊後大野市オリジナル住宅検討事業】

豊後大野支部では、豊後大野市から、定住促進対策事業の一環として、豊後大野市オリジナル住宅の検討を依頼され、平成 26 年、27 年にわたり事業を進めてきました。

当初、わが市に「相応しい」「豊後大野らしい」住宅を模索しましたが、近隣の市との明確な違いなどあるはずもなく、壁にぶつかりました。

そこで、視点を変え、豊後大野市で可能な生活様式に相応しい、自然が豊かで、通年穏やかな気候の中で、ゆったり生活できる住宅を計画しよう、と検討を進めました。

豊後大野市からは、下記の 3 パターンの提案を依頼されました。

- 若者向けの低価格住宅
- 市の文化等を活かした田舎らしい住宅（市の魅力の発信）
- 古民家風なもの（石の文化、農地付）

最終案は、いずれも「豊後大野市ならではの生活」ができる住宅を目的としました。

具体的に 3 パターンとも、広い敷地・玄関を兼ねた土間・外部テラス を設けた住宅です。

- ・ 玄関を兼ねた土間 農家には必須の有用な空間でした。そのメリットを再現したいと計画しました。近所付き合いの場や、DIY の作業の場として活用できます。
- ・ 外部テラス これも農家にあった軒下空間を参考にしました。家庭菜園等外部に繋がる空間で、くつろぎの場、土間と同様に、近所付き合いの場や DIY の作業の場として、その他多岐にわたって活用できます。



提案は、理解しやすいように、パース図を添付して提出しました。

今年度は、上記提案に沿った実施設計が行われ、次年度以降、モデル住宅を建設する見込みです。



- 若者向けの低価格住宅

上：内観パース

右：外観パース

大分みちくさ小道実行委員会

大分みちくさ小道実行委員会

大分みちくさ小道の活動についてご紹介する本稿。回を重ねて3回目になりました。

大分市は大分県内の他地域に比べると観光の面では目立たない存在です。でも歩く速度で見えていくと、地域の魅力を浮かび上がらせることができます。大分みちくさ小道は、誘い人が得意とするものをまちあるきテーマに地域の魅力を再発見するプログラムが集まったイベントです。

ひと口に“まちあるき”と言いましてもさまざまな切り口があります。食やお酒をテーマに今まで行ったことがないお店を訪問し食べあるきをするもの。大分の歴史を紐解いてその痕跡をたどっていくもの。音楽を体感しながらというものもありますし、パワースポットを巡るものもあります。大分の工業分野の最前線を目にしたり、普段入ることができないような場所に入ることができるという大人の社会見学要素だったり、誘い人のパーソナリティがプログラムに込められています。

今回はまちあるきの切り口のなかでも建築に関連のあるものをご紹介します。大分みちくさ小道の常連プログラムで毎回多くの人に参加する『大分路上観察学会ぶれぜんつ トマソン探偵団』です。

“超芸術トマソン”は大分にも縁がある前衛美術家で作家の赤瀬川原平さんらが定義した概念です。不動産に付属して、まるで展示するかのように美しく保存されている無用の長物のことを指します。ちなみに、トマソンの由来は、かつて存在した期待されたほどの活躍を見ることのなかったプロ野球の助っ人外国人を連想して名付けられています。



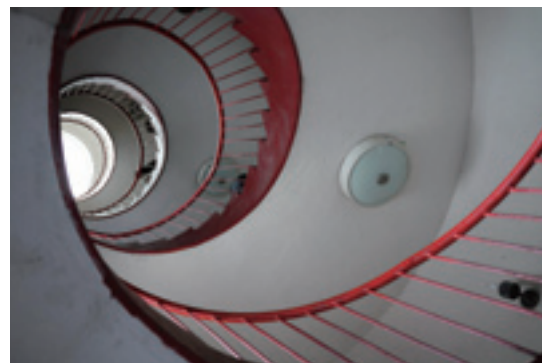
トマソンの例を挙げると、上って下りだけの階段、塞がれて開かない窓、階段がなくて使えない2階のドア、建物がなくなりその痕跡が隣接する建物にシルエットとして残っているもの、看板や標識の文字が経年変化で消え意味が伝わりにくくなったもの、などなど多くの分類があります。これらのものにはかつては役に立っていたにも関わらず、何らかの理由でトマソン化したものや最初から作った意図が分からないものもあります。

『トマソン探偵団』ではまちの表の顔である商店街から一步踏み込み、路地を曲がって裏通りを歩きます。カメラを片手にまちあるきをしながらまちに溶け込んでいる普段見逃している変わった風景や“超芸術トマソン”を探します。参加者同士で路上観察をしながら歩くと、参加者それぞれの視点の違いの発見や今まで気が付かなかった地域の魅力の再発見があります。

プログラムを主催している大分路上観察学会では、今後も活動エリアを広げながら路上観察を通して視点が変わること、当たり前の中にある面白味や、だれもの中にある「超芸術」を発見し、面白きことのなき世を面白くしていくそうです。

大分みちくさ小道は、誘い人が得意とするものをまちあるきテーマにして地域の魅力を再発見するイベントがたくさんあります。今回ご紹介した『トマソン探偵団』は建築と密接した切り口を持ったプログラムでした。大分みちくさ小道のコンテンツにはまだ未知の可能性が多くあります。そう遠くない機会にその可能性のひとつに誘い人としてご参加いただけたらうれしいです。

大分みちくさ小道 <http://oitamichikomi.com/>





九州まちづくり塾in宇佐

大分県地域貢献まちづくり委員長 宇佐支部 支部長 梶田 康一

九州まちづくり塾 in 宇佐

本塾の開催は、昨年宮崎の須木に続いて、2回目の開催となります。昨年のまちづくり委員長会議で、各ブロックのまとめで発表させていただいた通り、全国大会大分大会の後に、大分県の宇佐市で開催させていただきました。本塾は全国大会の余韻が覚めない中、12月3日(土)・4日(日)と2日間にわたり、大分県宇佐市四日市別院本堂で、～歴史ミュージアムを訪ねて～というテーマで行われ、大分県建築士会28名、九州ブロック内建築士会11名、計39名で遠くは沖縄より参加していただきました。



内容としては、はじめに大分県建築士会宇佐支部「町なみ修景隊」が、宇佐市と行っている2つの事業の中での活動事例について報告させていただきました。

それから講演1として、『平和ミュージアム構想と戦争遺構の保存計画について』宇佐市教育委員会の出口昭子氏から説明をいただき、建築士会宇佐町なみ修景隊の梶田康一、佐藤一郎、大分県立工科短期大学教授の松尾浩助先生より活動報告が発表されました。

さらに講演2として、

宇佐町なみ環境整備事業について、宇佐市都市計画課の吉松剛氏より事業報告がされ、その後すぐに、現地の四日市門前町の町なみ散策が行われました。

そして最後に、『町なみ保存とまちづくり その後の展望について』というテーマで宇佐市文化財保存会の小倉正吾氏とコーディネーターとして宇佐市社会教育課 課長 佐藤良二郎氏、宇佐市都市計画課 吉松氏、宇佐市教育委員会 出口氏、まちづくり委員長梶田の4名で、文化財を活かしたまちづくりについてパネルディスカッションが行われました。

意見交換では

「行政・建築士会・地元の工科短大が一緒になり取り組んでいてとても良い事例」「行政と建築士会が上手くいっている活動例」「街なみ環境整備事業の成果がうかがえる」「会場としてお寺の本堂という場所はとても良い」等の意見をいただきました。



夜の懇親会では

宇佐市の郷土料理(はも・からあげ・どじょうの唐揚げ)と地元の麦焼酎「いいちこ」がふるまわれ大変盛り上がった会となりました。

翌日、12月4日はあいにくの雨となりましたが、『豊の国宇佐塾』の井上氏にガイドをお願いして、9時よりフィールドワークに出発しました。

宇佐海軍航空隊 エンジン調整場から半地下式コンクリート造建物・落下傘整備場・城井1号掩体壕・平和資料館内のゼロ戦と戦争遺構を廻りました。

予定より早く進んだ為、最後に宇佐神宮の参拝をすることになりました。小雨の中、全国八幡の総本山である宇佐神宮に参拝をして、第2回九州まちづくり塾を終えることができました。



参加者のほとんどの方が、「宇佐にこういう戦争遺構があったとは知らなかった」「これからの保存整備に非常に興味がある」等、感想をいただきました。私達としても、大変やりがいのある活動だと思います。これからの活動に頑張っていきたいと思えます。

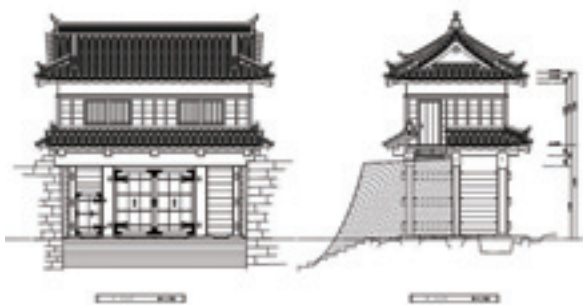


臼杵支部活動報告

何故に臼杵に「黄金の茶室」なのか？

臼杵支部 高橋利治

信長・秀吉が活躍した中世・戦国時代、その歴史を知る上で南蛮からやって来たイエズス会の宣教師ルイス・フロイスの書簡&記録は大変貴重なものとなっています。「完訳フロイス日本史」全12巻の中に大友宗麟篇が3巻あります。その第七四章に、臼杵で起きた大火の記載があり、そこに「国主フランシスコ（宗麟）が異教徒であった時に建てておいた黄金の部屋すら免れ得なかった」と記述があります。茶室とは書かれていませんが、黄金の部屋が有ったのは事実であります。当時島津に攻め込まれ、苦慮していた宗麟が大阪城の秀吉を訪ね、その時に秀吉に黄金の部屋を見せつけられ、臼杵に帰ってきて、マネして造ったのではと考えられます。（推測）



硬い話から入ってしまいました。変調します。臼杵支部が臼杵城の大門櫓復原に関わった二十年ほど前から事ある毎に興味が増していき、四十を過ぎたおっさん達が臼杵の歴史の面白さに目覚め、南蛮文化学習会「コント・ソング」というグループをつくり、南蛮MAPつくったりシンポジウムやったりファドコンサートやナンヤカンヤやって来ました。



そうして数年が経て、皆いい年になってきていろいろ飽きて来てまして、そんな折り、3年ほど前でしたか突然会員Uさんが、「黄金の茶室」を造ってみらん、とかいい出したもので又火が点きまして、ほんなら臼杵竹宵の晩に、大門櫓の傍に茶室持って行って、茶でも点てて皆さん喜ばせますか、となった次第です。

しかし、話だけ盛り上がり進んでも実行には中々移れず、一年以上経ってから、いつまでも出来ない図面を待ってられないU副支部長がしびれを切らし遂に見切り発車、我々も引っ張られるように公益事業で子ども達を集め金箔(?)貼体験をさせ、つまらん理由で竹宵出展はポシャったので、次の年の大分全国大会に向けて完成させよう、と目標を立て直し、平成28年10月完成に至ったという次第です。



金沢：箔座にて刺激受けやり始めた頃！

その間にも、建築士会金沢大会に行き、金箔貼った黄金茶室の本物を見学、京都大山崎にて「待庵」の展示館を視察、信長の安土城跡を見学、臼杵海添の大先輩S氏の茶室を訪問. . . など数々の遍歴を重ねました。



支部公益事業にて子どもと金箔貼り体験

全国大会当日は、ご存じの通りとんでもない土砂降り雨でした。しかし前日から乗り込み茶室の棟上げを



軽くこなし、気合い十分・準備万端の臼杵支部、これに二年前から準備しておいた雑木の苗木を三百鉢竹ポツポに仕込み、本願の「熊本城災害復旧支援金」は確実にワンサカワンサカ集まるものと誰もが思い込んでいました. ?

世の中は思い通りに進まないのが常です。大会が終わり撤収する時の何とも言えない達成感?は小生の建築士会人生において生涯忘れられないものとなったのです。されどここまで協力し、励ましてくれた支部会員と臼杵の「満月」で酌み交わした契りの酒はこれまた忘れられないものとなったのです。



MY WORK

- ★ 建物名称 佐伯市歴史資料館
- ★ 建築場所 佐伯市大手町1丁目2番25号
- ★ 構造・延床面積 RC2階建 1,297.55㎡
- ★ 用途 歴史資料館
- ★ 設計者 小川設計一級建築士事務所
- ★ 施工者

建築：佐伯・谷川JV
電気：匹田電気株式会社
機械：九電工・匹田電気電気JV



- ★ 工事名称 K様邸外構工事
- ★ 工事場所 白杵市内
- ★ 施工数量 駐車場コンクリート102m²、化粧ブロック積み、フェンス工35m、アプローチ1式



- ★ 工事名称 U様邸外構工事
- ★ 工事場所 白杵市内
- ★ 施工数量 中庭コンクリート147m²、雨受側溝11m

- ★ 施工者 (有)丸平建設



MY WORK

- ★ 建物名称 養護老人ホーム
久住高原南山荘
- ★ 建築場所 竹田市久住町大字栢木^{かやき}
- ★ 構造・延床面積 住居部：木造平屋建
玄関棟：RC造壁式 2階建
- ★ 用途 養護老人ホーム・ショートステイ
- ★ 設計者 さとう設・工一級建築士事務所
佐藤 勤也
- ★ 施工者 (株)熊野建設

★設計主旨：

竹田市が市内で運営していたこの施設が、老朽化等もあり、民間に移管され、久住町に新設されたものです。

木造で建てたいという希望と、ユニット化したとの要請で、分棟方式を採用し、分節点を主玄関、サブ玄関（RC造）として住居棟を3分割（ユニット化）としました。

入所者の皆さんの集いの場（食堂、機能訓練室）を出来るだけ広くする為に最大 13m スパンのボックス梁を採用しています。東西に長い敷地で、住居部は中廊下とし開口部は東又は西向きとなっていますが、隣棟間隔を出来るだけ広く取り、又コア部となる集いの場を南面とし十分な採光、通風を確保しています。

居室は主に個室で（WC付）13.5㎡としています。

ロケーションは北に大船山、三股山を望む風光明媚な場所です。



BOOK My Best Book

マイベストブック

『徳川家康』著：山岡荘八

玖珠支部 衛藤銃太

「徳川家康」との出会いは中学校の図書室でした。26巻ある全集を読みふけていました。

詳細な内容については記憶に乏しいのですが、三代将軍と言われる織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の中で、徳川家康が一番興味をひかれました。それは、徳川家康全集との出会いがあったからかもしれません。

大人になってからテレビ放送で、度々徳川家康が出てきますが、たいていの場合「たぬき親父」的な役柄が多い感じられるが、私が持っている徳川家康の人物像としては、争いを好まず平和な世の中を作るために忍耐強く「たぬき親父」を貫いたのではないかと思います。

徳川家康は三河の岡崎城主の子として生まれますが、幼いころから母と引き離され母を知らずに育ち、5歳の時には人質として差し出され、14歳の時に松平次郎三郎元信として元服、15歳で初陣してからは今川滅亡・三河一向一揆の内紛・本能寺の変での逃亡・関ヶ原の戦いなど多くの戦の指揮をし、敗戦や逆境・困難に屈することなく、先見の目を持って徳川幕府を築くまでに至ったことは、強運の持ち主と同時に絶え間ない努力と忍耐があったからだと思えます。

徳川家康が征夷大將軍に任じられて江戸に幕府を開いた慶長8(1603)年から15代将軍慶喜の大政奉還によって王政復古が行われた慶応3(1867)年にいたる265年間、良い悪いは別にして徳川幕府を続けられたことは(小競り合いはあったにしても)、ものごとを長い目でみていくことができる、粘り強い家康ならではの政策だったのではないのでしょうか。

現在の日本(世界)では、戦後70年が過ぎた今もなお戦争の傷跡に苦しむ人が多くいるにもかかわらず、頻りに繰り返されるテロ、そして毎日の様に報道される殺人事件など…。

戦争を知らない若い世代(私たちを含め)が築いていくこれからの世界は、どのような時代となるのでしょうか。戦争のない平和な世界を望まずにはいられません。

マイベストブックとしては随分前の書籍となりますが、初めて長編小説に挑戦したのが「徳川家康」全集であり、同時に小説にのめり込んだのもこの1冊でした。あなたも挑戦してはいかがでしょうか。たぬき親父の家康のイメージが変わるかもしれません。

『聖(さとし)の青春』著：大崎善生

宇佐支部 古市 憲司

怪童「村上聖」。あの稀有の天才羽生善治と互角に渡り合い、名人になる一歩手前で亡くなった天才棋士です。

私自身、特に将棋を趣味とするわけでもなく、子供の録画した毎週日曜日の「NHK杯将棋トーナメント」やインターネットの動画サイトで、昔の指し手をぼんやり眺めているくらいなのですが、その中でも羽生善治は他の将棋指しとは、実力、風格を含めて別格であると感じます。

その羽生善治としてのぎを削り、正に死闘とも言える戦いを繰り広げた「村上聖」という棋士の存在を知ったのはほんの2年ほど前です。

彼は幼少期に重い腎臓の病気「ネフローゼ」に罹り入院を繰り返しました。その中で出会ったのが将棋でした。そして、その後の人生全てを将棋に捧げたと言っても過言ではありません。

本書は、そういう過酷な状況の中、常に死と隣り合わせにしながら勝負の世界で生き抜いた彼の生涯を描いたノンフィクションです。

最近では映画化されるなどでマスコミに取り上げられる機会が増えましたが、それまでは将棋に関心のない人にとって、その存在は殆ど知られていなかったと思います。実際、私も彼のことを知ったのもテレビで放映されたあるドキュメンタリーでしたが、その映像から受ける彼の鬼気迫る姿や生き様に心を揺さぶられました。

もし存命ならば年齢的にもほぼ同じですので、私の人生とほぼ平行してこんな人生があったということはとても衝撃的でした。

『人間は悲しみ、苦しむために生まれた。それが人間の宿命であり、幸せだ。』

僕は死んでも、もう一度人間に生まれたい。』

将棋界トップの「A級」に在籍したまま、ガンのため29歳の若さで逝った伝説の棋士「村上聖」。彼の残したこの言葉は、厳しい現代を生きる私たちに向けての叱咤激励のように感じます。



PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については照不同です)



★生年月日：昭和60年生まれ

★勤務先：大分市役所

★趣味：読書、体を動かすこと

★将来の夢、モットー等

建築士会大分支部に在籍しています、丹生孝太と申します。

5年前に準会員として入会し、昨年ようやく正会員になりました。最初はよくわからず入会した建築士会でしたが、年が経ち、知り合いの建築士さんも増えました。

たくさんの建築士さんと接する中で、いろいろなことを教えていただき、勉強する日々を送っています。また行政と民間とは、建築への携わり方や考え方も異なるかと思いますが、安全で快適な建築物として利用してもらえるように、行政の立場として日々奮闘しているところです。

まだまだわからないことだらけですが、精一杯頑張りたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。



丹生 孝太 (大分支部)

★生年月日：昭和60年生まれ

★勤務先：株式会社佐伯建設

★趣味：愛犬と散歩、ドライブ

★自己紹介：

初めまして、株式会社佐伯建設 設計部 廣瀬と申します。

私は入社以来現場管理業務を経て現在は建築設計業務に携わっています。

建築士会での活動は普段の業務では関わることのできない様々な人と知り合い、色々な情報交換ができる良い活動の場と思っています。まだまだ活動の範囲が狭いですがこれから積極的に参加していけたらと思っています。

よろしく願いいたします。



廣瀬 祐樹 (大分支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



★生年月日：昭和52年11月25日

★勤務先：首藤顕道建築設計事務所

★趣味：野球、バイク

★将来の夢、モットー等

大分支部青年部長を務めております首藤です。

建築士会に入会して約8年、青年部長を約3年務めさせて頂いています。

独立を機に故郷である佐伯市へ移住し、現在まちなかでのリノベーションまちづくりに取り組もうとしています。

空き家・空き店舗といったまちなかの余った空間をどう活用するのか。

人口減少の時代の大きな課題のひとつではありますが、あまり肩肘張らずに「自分が住みたいまちをつくる！」をモットーに取り組んでいきたいと思っています。

徐々にではありますが共感してくれる仲間も増えつつあり、私自身これからのまちの変化がとても楽しみです。

佐伯の未来にどうぞ期待ください！



首藤 顕道 (大分支部)

★生年月日：昭和60年1月12日

★勤務先：株式会社 幸建設

★趣味：建築(仕事?)

★将来の夢、モットー等

父が建築士会の活動に精力的に取り組んでいたこともあり、以前より興味を持っておりました。

現在は、主に一般住宅の設計に携わっておりますが、歴史や街づくりなど、違った視点から建築に携わっていきたいと考えております。

会の活動の中で、皆様のお役に立てるように、また一人の技術者として成長できるように、精進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



幸 康史 (別府支部)

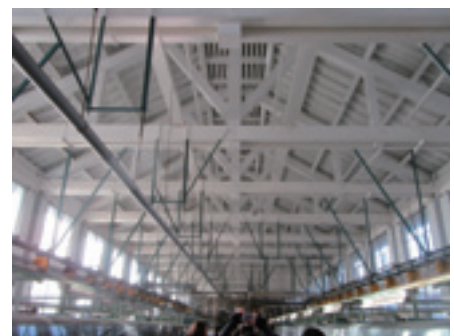


国宝・世界遺産「旧富岡製糸場」を訪ねて

昨年末、群馬県富岡市にある旧富岡製糸場を見学してきました。ここは、平成26年6月（2014年）に世界遺産に登録され、この中の3棟（繰糸所、西置繭所、東置繭所）が同年の12月の国宝に指定されています。これで全国に点在する132箇所（箇所数のカウントの仕方も人によって異なると思います。例えば、法隆寺の境内には18棟の国宝建造物がありますが、これを1箇所とカウントしています。）すべての国宝建造物を見て回ったこととなります。但し、国宝建造物の中には非公開のものもありますので、国宝建造物すべてを見たか？と問われると疑問符はつきましますし、一昨年、国宝指定された松江城や石清水八幡宮は国宝指定前に数回見てはいますが国宝指定された後には訪れていません。このように「国宝建造物完全制覇」というには若干の言い訳は必要ですが、一応これで＜瞬間的には＞国宝建造物巡りは完了した形です。わたしの人生の中でもこの20年近くを費やした一大イベントだったと言えます。しかし、国宝建造物の新しい指定は今後も続くと思われるので、新しい指定があるたびに、国宝建造物巡りは細々ながら続きそうです。しかも、ここ数年、明治になってから建設された建造物の国宝指定が続いていますので、昭和に竣工した建造物の国宝指定も遠からずやってくることでしょう。

さて、話を旧富岡製糸場に戻しましょう。ここは、明治維新後の国策として推進された殖産興業の一環として明治5年（1872年）に、絹糸生産のための建造物が完成し、まもなく操業開始しています。建物の保存状態も良好で、建物本体だけではなく工場内の機械設備も、よく操業当時の状態を保っています。東西の2棟の置繭所は木骨レンガ造という形式で、壁体部分は木材とレンガの組み合わせで、床組や小屋組（トラス構造）は木造という形式です。

ヨーロッパの古民家で見られる「ハーフティンバー構造」と言ってもよいかもしれません。なお、西置繭所は現在、解体修復工事中ですが、工事中の見学も可能です。



富岡は、決して交通便の良いところではありませんが、東京から高崎まで新幹線を利用すればトータル2時間あまりの距離ですので、東京からの日帰りも可能です。また、高崎から富岡までは「上信電鉄」の利用がお勧めです。上信電鉄は観光客ばかりではなく周辺住民の生活・通勤・通学の足としても利用されている地元密着型の鉄道でもあります。



車内には、地元の方が描かれた「絵手紙」がところ狭しと展示され、アットホームさを演出しています。

＊ ＊事務局便り＊ ＊

○建設業法に基づく「監理技術者講習」を【毎月】開催しています。

（公社）日本建築士会連合会は監理技術者講習の登録講習機関として国土交通省から認定されました。これを受けて平成27年度から全国の建築士会でも「監理技術者講習」を実施していきます。大分県建築士会は毎月上旬に事務局会議室で開催しています。建築士会CPD6単位が付与され、テキストも建築系、建築設備系の監理技術者に有益な内容になっています。建設業法の監理技術者でなくても技術研修としても活用してください。

○改正宅建業に基づくインスペクター（既存住宅状況調査技術者）養成講習会を平成29年度から実施します。（従来の長期優良住宅化リフォーム推進事業とは別物）

平成27年度に（公社）日本建築士会連合会は国土交通省からインスペクター登録講習機関として認定され、長期優良住宅化リフォーム推進事業におけるリフォーム工事の助成対象インスペクター養成講習会を全国で開催してきましたが、改正宅建業法に基づき平成30年度から中古住宅の取引にインスペクション（建物現況調査）の斡旋等が義務づけられます。このため、平成29年度より新規に宅建業法に基づくインスペクター養成講習会を連合会が実施することになる予定です。業務内容は類似していますが法律に基づき登録された建築士が行う業務になります。講習募集の詳細は5月以降にご案内します。

○建築士法に基づく「建築士定期講習」が開催されます。

第1回	日程：平成29年	6月26日（月）	会場：大分県教育会館	定員：170名
第2回	日程：平成29年	8月9日（水）	会場：中津市生涯学習センター	定員：50名
第3回	日程：平成29年	9月12日（火）	会場：大分職業訓練センター	定員：50名
第4回	日程：平成29年	11月8日（水）	会場：日田市複合文化施設 AOSE	定員：50名
第5回	日程：平成29年	12月20日（水）	会場：大分職業訓練センター	定員：50名
第6回	日程：平成30年	3月20日（火）	会場：大分職業訓練センター	定員：50名

★申込書の配布は建築士会本部・各支部および事務所協会で随時行っています。（公財）建築技術教育普及センターからダウンロードもできますのでご利用ください。

★申込方法、申込書の記入等詳細については、普及センターホームページにてご確認ください。

○建築物省エネ法に基づく適合性判定が義務づけられます。

平成29年4月1日から2,000m²以上の非住宅建築物の建築物省エネ法適合性判定が確認申請時に義務づけられます。また、完了検査時に省エネ工事監理報告書の提出が義務づけられます。今後も建築士会でも新しい制度への対応講習会を行います。

参考：国土交通省のHP http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/jutakukentiku_house_tk4_000103.html

○特殊建築物、昇降機等の定期報告制度が変わります。

平成28年6月1日に改正建築基準法が施行され、定期報告の対象建築物や、昇降機等の定期報告様式が変わります。平成28年度以降の報告対象建築物等については所管の特定行政庁に問い合わせてください。今後も建築士会でも新しい制度への対応講習会を行います。

参考：県のHP <http://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/1026854.pdf>

発 行：公益社団法人 大分県建築士会
印 刷：佐伯印刷株式会社
発行日：2017年2月

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0907	別府市幸町 8-32 (株)ユウキ内	0977-22-1921
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下 1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2436	津久見市上宮本町 6-22	0972-82-8806
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-23-6099
豊後大野	879-7131	豊後大野市三重町大字市場 2 区	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0025	日田市田島 1-7-43-1F 102 鈴木建築事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会